

真の教会の歴史

アダムから今日まで

ハイロ・P・アルベス・デ・カルヴァーリヨ牧師

導入

地球上には何千もの確立された教会があり、すべてがそうではないにしても、そうであると公言しています。人間と神とのつながりを促進する導管。しかし、それらのほとんどすべてに儀式と教えがあります。単数であり、他のものとは異なります。非常に多様性がある中で、当然の疑問が生じます。

神はそれらすべての中に存在し、行動しているのでしょうか？どちらの道に行っても、そのどれかに神を見つけることができるのでしょうか？

答えは聖書の中にあります。しかし、さまざまな宗派の波に浸って、その探求は、市場のすべての露店の中から適切な果物を探すのと似ています。多くの場合必要になります。屋台のオーナーの叫び声や悪意のある売り子の注意から耳をそらしてください。何を買いたいのかを明確にし、重要でないものを目と手で区別して、最後まで何をしに来たのかを見つけてください。同様に、宗教の文脈でも、手がかりを知る必要があります。私たちが真の教会に導く聖書の考え方。次の段落では、それらのまとめ。あなたはそれらをよりよく理解し、聖書の基礎を見て、発見するでしょう。この本を読んでいると、今日の神の真の教会とは何でしょうか。このため、推奨されるのは、章を飛ばさないでください。読みながら真実を明らかにしましょう。

つまり、どの世代においても、地球上には常に真の教会は1つしか存在しませんでした。しかし、真の教会は常に同じではありませんでした。さまざまな教会が次の使命を互いに引き継ぎました。みことばの真理が込められた燭台を手に取り、それは「足のともしび、人の光」です。

「人間の道」(詩 119:105)。真の教会には独特の特徴があります。

いつでも明確に識別できます。こういった特徴を知ることで、

私たちは歴史を通じて真の教会の継承をたどることができます。予言が指摘したのは、過去にはあらゆる真の教会が出現しました。こうして、真の教会の出現が、私たちの時代は聖書の預言で指摘されています。今日の教会の特徴は、真実であり、聖書の預言の成就として出現したものが真の教会です。それは今日の真の特徴を持ち、それを最後まで維持するなら、真の教会は最後になります。

イエスの帰還。言い換えれば、神の御言葉の燭台を持ち、信じ、に従い、御言葉を広めることです。真実。

読み始める前に、最後の講義をしておきます。信仰を確立する目的についてです。

今日の真の教会は、

予言には、指摘された事実を検証できる要素を設ける必要がある。・

異邦人に向けられた福音として知られるルカの書は、この教えに従っています。

著者自身も冒頭で次のように指摘している。

それ以来、それを目撃した人々によって私たちに伝えられた、私たちの間で成就した事実

彼らは言葉の奉仕者でした、そして彼らをあなたに説明するのは私にとっても都合がよいと思いました、
おお、優秀なテオフィラスよ、あなたの命令により、すでに私に、からのすべてについて詳細に知らせてくれました。

原理;それはあなたがすでに知らされている事柄の現実性を知るためです。」 (ルカ 1:4) 。周知された

過去の世代の間違ひについての説明を一般の人々が受け入れるのは簡単ですが、

現在形での主人公の暴露は常に論争を引き起こします。そしてそうではないようです

それを行う人々が、自分の行動が次のような動機で行われているというほめかしから逃れる方法があります。

個人差の理由から。しかし、行動の原動力が「やりたい」という欲求である場合、

誠実な者の信仰を明確にして確立すれば、結果は神に委ねられます。

過去の世代の勇敢な奉仕者たち。

使徒や預言者によって記録された神聖な歴史を見れば、神が彼らを容赦しなかったことは明らかです。

男性の評判。以前、彼は間違いを、たとえ最も神聖な間違いであっても、それを悪者として見るたびに描いていました。

将来の世代に、その道を取り囲む危険について警告し、警告する目的。

救い。モーセは彼の世代で、イスラエルの人々に彼らの罪を思い出させました。

神が彼に話すよう命じたとき、彼はカッとになって岩にぶつかるほど彼を挑発した。

「主はあなたの言葉のせいで私に腹を立てました。そして、私がそんなことはしないと誓っていただきました。」

そうすれば、ヨルダン川を渡って、あなたの神、主が相続地として与えられる良い土地に入らないであろう。」

4:21) 。当時、イスラエル人はすでに霊的な人間であり、信頼することを学んでいました。

モーセ。彼らは申命記に自分の罪を記録したことを非難せず、そのまま残しました。

私たちへの証言。またモーセの兄弟であるアロンとミリアムもモーセの行為を責めませんでした。

自分の間違いに関してさえ (民数記 12 参照) 。彼らは自分たちの罪を悔い改め、喜びを感じました。

彼らにとっては神との平和だけで十分でした。自分の間違いを記録することが他の人の助けになったとしても、彼らは依然として

これが何らかの形で同胞たちの救いに貢献できれば幸いです。「そしてモーセはこう書いた」

この律法を定めて、主の契約の箱を担いだ祭司たち、レビの子らとすべての者に与えた。

イスラエルの長老たち。モーセは彼らに命じて言った、「7年ごとの終わりに、その時に

すべてのイスラエルが現れる仮庵の祭りの解放の年に決定される

あなたはあなたの神、主の前で、主が選んだ場所で、全イスラエルの前でこの律法を朗読しなければならない。

耳。中にいる人々、男性、女性、子供、外国人を集めてください。

それは彼らがあなたの神、主を聞き、学び、恐れ、そして次のことに注意するためです。

この律法の言葉をすべて実行しなさい」 (申命記 31:9-12) 。歴史の記述にも同じ原理が見られます。

申命記にある神の民の誤りは今日でも有効であり、それに基づいてこの本に記録されているポストモダンの教会史の啓示。

第1章

唯一無二の真の教会

聖書は、その使命において教会について言及するとき、常に単数形で言及しています。イエスは言及した単一の群れとして彼の教会にこう言います。

これらを集めるのもわたしにふさわしいことであり、そうすれば彼らはわたしの声を聞き、一つの群れと一人の羊飼いが生まれるだろう。」

(ヨハネ 10:16) 。神は「万物をその足の下に従わせ、神を万物の上に任命した」

教会の長。どれが彼の体です...それで今、教会を通して神のさまざまな知恵が伝えられます

知られなさい」(エフェソス 1:22,23; 3:10) 。神は一連の宗派を認めておられません。

キリストの体のように、その不一致な信条を持っています。「信仰は一つ、洗礼は一つ」と書いてあるからです。

(エフェソス 4:5) 。それは、真の信仰を支える一連の教義です。次のように明確にしています。

神の家族。使徒と預言者の基礎の上に築かれ、イエス・キリストは

主要な礎石」(エペソ 2:19-20) 。言い換えれば、真の教会では、使徒と

預言者は教えた。数多くの聖書の伝統や解釈が入り込む余地はありません。

彼らの教えの本質に反するものであり、教会の教義に変換されています。教会は一つしかない

それは真実であり、それは使徒と預言者が述べたことだけに基ついた単一の教義を持っています。

聖書に見られるように書いています。

第2章

真の教会の際立った特徴

安息日を休日として守る

最初の教会は天地創造の6日目に設立されました。完璧で罪がない、アダム(男性を意味します)と妻のイブは、最初の土曜日に神から与えられた祝福を受けました。

「初めに神は天と地を創造されました。そして神はこう言われました、「私たちの姿に似せて人間を造ろう、私たちに似せて…そして神は彼らを祝福し、神は彼らに言った、「産めよ、増えよ」

そして地を満たしてください…そして神は自分が作ったすべてのものを見て、見よ、それはとても良かったです。そしてそれは午後だったので、6日目の朝…

そして神は七日目に自分が行った働きを終え、七日目にすべてのことを休んだ。

彼の仕事、彼が行ったもの。そして神は七日目を祝福し、それを神聖なものとした。なぜなら彼の中で彼は休んでいたからです。すべては神が創造し造られた神の働きです。これらは、天と地の起源です。

使用人よ。』将軍1:1,26,28,31。 2:2-4。

アダムとイブは神のなされた模範に従い、最初の安息日を守りました。「だって、あるところでは場所は7日目について次のように言いました :そして神は7日目にすべての仕事を休んだ…なぜなら安息日に入った者は、神が自分の業から休んだように、彼自身も自分の業から休んだのである。」（ヘブ。4:4,10）。

その日以来、罪が存在する前から安息日は神と神の間の記念の日となりました。

人々。約2,500年後、神は指で板に書かれた律法をモーセに与えました。

ストーンは、創造について触れながら、土曜日を休息日とする理由を指摘しました。

「安息日を聖く保つために、安息日を忘れないでください…主は六日間で天と地を造られ、海とその中のすべてのもの、そして7日目に彼は休みました。それゆえ、主は安息日を祝福し、それを神聖なものとした。」（出20:8-11）。

こうして、地球上の唯一の住民である聖なるペアで構成された最初の教会が崇拝されました。

土曜日の創造主。当初から、週の7日を遵守することは、

主に奉献されたことは、神の真の崇拝の独特のしるしでした。

本当の教会。彼らがシナイに到着する前に、神はそこでモーセに律法を与えられました。

マナの奇跡、人々がその日には収穫しないように、金曜日に2倍のマナを与える

神聖。安息日に神のもとに来るといふ人々の主張に直面して、神はこう答えました。「あなたはいつまでわたしの戒めと律法を守ることを拒むのですか。……それで民は7日目に休んだのです。」

16:28) 。起こったことは、イスラエル人が安息日を守る義務を以前から知っていたことを示している。

戒めの宣言のこと。彼らはモーセに無知を訴えませんでした。むしろ単純に

彼らは自分たちが間違ったことをしと知りながら訂正した。モーセは創世記を書いたとき、次のように記録しました。

彼の先祖であるアブラハムについての神の証言：「彼はわたしの戒め、わたしの戒めを守り、

わたしの法令とわたしの律法」（創世記 26:5） 。これは、当時の教えが

休む。そして彼は、アダムから始まる何世代にも遡って、両親からそれを受け取りました。

戒律と模範によって、安息日の教えはアダムから人々に伝えられました。

地球上の神の黄金の糸を作り上げました。そして神はモーセに、自分のことを記録するように命じました。

遵守は常に神とその民との間のしるしであり、神の創造の働きの記念として、

休息と靈的再生の例: 「したがって、イスラエルの子らは安息日を守ります。

永遠の契約により、世代を超えて安息日を祝います。わたしとイスラエルの子らの間ではこうなるだろう
永遠のしるし。主は六日の間に天と地を造り、七日目に休んで元気を与えられたからである」(出エジプト記
31:15-17)。預言者イザヤは、そのようなことはないと保証しました。

それはイスラエル人だけではなく、全人類に対してです。「そして、外国人の子供たちにも」
主のもとに来て主に仕え、主の御名を愛しなさい。

あなたの僕たち、安息日を守り、安息日を汚さないすべての人、そしてわたしの命を受け入れる人たちよ。
コンサートが終わったら、私も彼らを私の聖なる山に連れて行き、私の祈りの家で彼らを祝います...なぜなら、
わたしの家はすべての人々のための祈りの家と呼ばれます」(イザヤ書 56:6,7)。また、
安息日が聖徒たちによって永遠に守られること。

わたしが造る新しい土地はわたしの目の前にある、と主は言われる、あなたもそうであると主は言われる
後世とあなたの名前。そして、次の新月祭から次の新月祭まで、また次の新月祭まで、そうなるのでしょうか？
次の土曜日まで、すべての肉なる者はわたしの前に礼拝に来る、と主は言われる」(イザヤ66:22,23)。

したがって、安息日の遵守は間違いなくこの国の際立った特徴です。

いつの時代でも、真の教会です。

戒めへの従順

アダムは紀元前 4000 年頃に創造されたと考えられています。

土曜日。モーセは約2500年後の紀元前1450年頃に律法を受けました。したがって、それは明らかです
安息日は成文法が制定されるずっと前に制定されたということです。

安息日は人間が墮落する前に制定されました。聖書によれば、法律は次のようにする必要がありました。

「罪を犯したため」と宣言されました(ガラテヤ 3:19)。つまり、次のような結論に達します。
もし人間が罪を犯さなかったら、律法の戒めを次のような形で提示する必要は決してなかったでしょう。
書き込み。罪が起こる前には、人間の側には神に対する自発的な従順がありました。装飾。
なぜなら、安息日を完全に遵守することによって、人間と創造主との交わりは、
維持され、神の性格についての知識が深まり、神の愛が完全に吸収され、
男は忠実であり続けた。したがって、安息日の目的がわかり、次の聖句がよりよく理解できます。
土曜日は人間のために作られたのです」(マルコ2:27)。

罪を犯した後、人は徐々に安息日を守らなくなりました。この事実は、
戒めのメッセージの調子に暗黙的に含まれている: 「安息日を聖く保つために、安息日を忘れないでください」例。
20:8。天の光の宝庫として選ばれた民イスラエルですら彼を見捨てた。

神の計画は、安息日が「神聖なものとされる」ことでした(出エジプト記 20:8)。「聖化する」という言葉
神聖なものにするという意味です。土曜日と関連付けられているため、土曜日を分離する必要があることがわかります。
神聖 - 礼拝、祈りと研究を通じた交わりを通して、神と直接接触するためのもの

聖書と苦しみへの援助。なぜなら、罪を犯した後、神と人間とのつながりは次のとおりであるからです。

安息日はキリストを通して造られたものであり（「わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに来ることはない」ヨハネ14:6）、安息日は次のように結論付けられています。

それはキリストとの接触のために定められた日です。もし戒めが守られたら、人々はこうなるでしょう。

救い主から離れるのではなく、救い主に近づくことです。偶像崇拝者は一人もいないでしょう。そして、のために

キリストとの交わりは変容するでしょう。したがって、安息日は使用される道具であることがわかります。

神によって、人々を神自身と、そして神と和解させるのです。言い換えれば、あなたを助ける手段です。

神の律法に対する忠誠心と従順を再導入します。

安息日が忘れられると、男たちは、

モーセの時代の成文形式の律法に重点を置きました。パウロはそれが与えられたと言っています。

（ガラテヤ 3:19）それは、人々も自分たちの行いの罪深さを理解するためです。

彼が救い主を必要としているからです。

秋の道をご紹介します。人間が神と和解する過程において、

彼はその逆をしなければなりません。キリストへの信仰を通して、人の心は悔い改め、

信者は新しくなります。「ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造されたものです。古いものはすでに存在しています。

彼らは通り過ぎた。見よ、すべてが新しくなった」（IIコリント5:17）。意志と結びついたキリストの力によって

人よ、戒めに従う人生が始まります。「信仰によって…私たちは律法を確立します」

信者の心（ローマ 3:31）。これが新しい契約の履行です。「見よ、その日が来るだろう、と神は言う。

主よ、その中で...私は新しい契約を確立します...これはそれらの後に続く契約だからです

「わたしはイスラエルの家を何日もかけてやろう、と主は言われる。わたしはわたしの律法を彼らの理解と彼らの理解の中に置く」と主は言われる。

私は心を込めてそれらを書きます。そしてわたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となるであろう」（ヘブライ人への手紙 8:8-10）。したがって、

神の民の際立った特徴は、神の戒めを守ることです。

イエスの信仰

イエスは「わたしなしではあなたは何もできない」（ヨハネ15:5）と言われました。法律は従順を要求します。しかし、これは人間は自分自身から与えることはできません。しかし、キリストの助けがあれば、すべてが可能になります。彼に与えられたのは

「天と地のすべての力」（マタイ28:18）。そして神は私たちをこう招きます。「わたしの力をしっかり掴んでください」

そして私と和解してください」（イザヤ書 27:5）。パウロは、「わたしを強めてくださる方によって、わたしはどんなことでもできる」と言いました。その男

無力で、自分の弱さを認識しながらも、イエスに頼る者は、常に神に従います。この中で

真の信者は次のように言うことができます。

それはキリストの力が私の内に宿るためです。だから私は弱さを喜びます、

侮辱の中でも、困窮の中でも、迫害の中でも、苦難の中でも、キリストの愛のために。なぜいつ

わたしは弱い、ゆえにわたしは強いのだ」（IIコリント12:9、10）。

人間をキリストに結びつける縄は信仰です。人間が織ったものではありません。「あなたは〜によって救われました」

信仰を通して。そしてこれはあなたから来たものではありません。それは神からの贈り物です。それは行いから得られるものではないので、誰も誇ることができません。」

(エペソ人への手紙 2:8,9)。信仰は買うことができません。それは、キリストが私たちに及ぼす魅力に対する私たちの反応です。

十字架の無限の犠牲によって、神は私のすべての欠点と間違いを取り除いてくださいました。彼のうちに十字架につけられた私、
が代表されました。私の過ちが私にもたらした死（「罪の対価は死である」）

お金を払って私に命を与えてくれました（無料の贈り物はキリスト・イエスを通して永遠の命です - ローマ6:23）。これらすべて
なぜなら彼は私を愛していたからです。そして、「主が私に与えてくださったすべての恩恵に対して、私は何を捧げましょうか。

わたしは救いの杯を取り、主の御名を呼びます」(詩116:12,13)。幸せに

私は私に与えられた恵みと憐れみを受け入れ、私の唯一のものとしてキリストにしがみつきます

天国の場所を獲得することを保証します。

信仰は「生じます」。神はそれを私たちの心に入れてくださいます。私たちは神がどのようにそれを行うのか知りませんし、またその必要もありません

知る。 「風は望むところに吹き、その声は聞こえますが、それがどこから来てどこへ行くのかはわかりません。

霊から生まれた者はみな同様である」(ヨハネ 3:8)。神の霊が常に働いています

私たちの良心。あるいは、比喩的に言えば、彼は「私たちの心の中で行動している」のです。

良いことからなる福音の中で明らかにされたキリストの愛を私たちに印象づける

彼の救いと恵みについて、私たちがこの強力な行為に抵抗しなければ、信仰の植物が私たちの中に生まれます。

「キリストの愛が私たちを駆り立てているからです」(IIコリント5:14)。

私たちの内における神の神聖な働きの結果であるこの信仰を通して、私たちは確信されています。

キリストの助けによって、私たちはあらゆる誘惑に打ち勝ち、キリストに従順になります。

戒め。それを止めるものは何もありません。彼は言いました、「私の羊は私の声を聞いている、そして私は知っている」

彼ら、そして彼らは私に従ってきます、そして私は彼らに永遠の命を与えます、そして彼らは決して滅びることはなく、誰も彼らを世界から奪い取ることはありません

わたしの手」(ヨハネ 10:27,28)。

イエス・キリストがこの地球上で巡礼している間に、真の信仰が明らかにされました。

この贈り物を受け取る人は皆、マスターであり救い主の人生を再現しているだけです。

自分で。上記と同様に、使徒パウロは次のように述べています。

肉である私は神の御子への信仰によって生きています」(ガラテヤ 3:20)。本当の信仰はイエスの信仰です。

神からの賜物であるイエスの信仰は、真の教会に常に存在する不可欠な要素です。

なぜなら、「信仰がなければ神を喜ばせることは不可能である」からです(ヘブル11:5)。そして神の教会は神に喜ばれることを行います。しかし

聖書は、私たちが「神の戒めを守るとき…神の目に喜ばれることを行う」と述べています。

見える」(ヨハネ第一 3:22)。したがって、教会は信仰によって戒めを守ります。したがって、黙示録の本文は、

そこで天使は次のように述べています。ここに戒めを守る人たちがいます

神とイエスの信仰」(黙示録14:12)。真の教会には次のような特徴があります。

神の戒めとイエスの信仰です。」

聖書の最後の本は、終わりの日の教会が単なる教会に成り下がったと今でも宣言しています。

過酷な試練で数人の死傷者を出した後の忠実な生き残りには光が与えられるだろう

予言に関する特集。「ドラゴンは怒りました…そして、残りの種、つまり、彼らに戦争を仕掛けに行きました」

彼らは神の戒めを守り、イエスの証を持っています。」 「イエスの証は、

預言の霊」(黙示録 12:17; 19:10)。したがって、預言の賜物は終末まで続くことがわかります。

それは真の教会に現れます。という意味を世界に提示するという事です。

ダニエル書と黙示録の預言。ダニエルについてはこう言われています。「この言葉を閉じて、これを封印してください」

本」(ダニエル書 12:4)。黙示録では、この本が開かれています。

内側と外側に書かれ、七つの封印で封印された本を玉座に置きます...そして私が見た、そして見よ...子羊...そして

やって来て本を受け取りました...そして...彼らは子羊の前にひれ伏し...言いました :あなたは...本を開く価値があります

アザラシ」(黙示録 5:1-9)。黙示録ではダニエルの預言が明らかにされています。これはすでに見られます

本の序文:「神が示すために与えられたイエス・キリストの啓示...」(黙示録1:1)。

同じ聖句は、地球上に選ばれた人々のグループが存在し、彼らに光が明らかにされることを指摘しています。

「神は、間もなく起こるべき事柄をご自分の僕たちに示すために彼を与えられたのです。」

したがって、終わりの日の真の教会は、天から受け入れられると認められた唯一の教会であり、

したがって、ダニエル書と黙示録の理解の光をすべて世界に提示してください。

したがって、真の教会の特徴は、預言の理解を持ち、それを広めることです。

ダニエル書と黙示録より。

さまざまなグループが分散しており、それぞれに小さな光があります。でもそれは教会のためです
神がこの世代の人類に運命づけられているすべての光を与える、選ばれた者です。コミュニケーションがある

天とこの教会との間は天使を通して絶えず続いています。この事実は何世紀にもわたって予言されていた

過去:「あなたの息子や娘たちは預言し、あなたの老人たちは夢を見るだろう。

若者たちはビジョンを見るでしょう。また、当時の召使や侍女たちにも、わたしはわたしの恵みを注ぐだろう。

霊」(ヨエル 2:28,29)。この約束は、まだしばらくは果たされていないと多くの人が考えています

未来。しかし、それが今その経験の中で実現されるのは、真の教会の特権です。

まとめ:

要約すると、神の真の教会の特徴は、十戒を守ることです。

安息日を含む神の戒め。イエスの信仰。そして預言の賜物 - の理解

ダニエルと黙示録の預言 (最後の世代の歴史の中で成就されるものを含む)

人類の時代からキリストの再臨直前まで。

第3章

何世紀にもわたる「黄金の糸」

真実の光を含む燭台を振るうという使命を、さまざまな手が互いに成功させた人間の「足のともしび、道の光」である御言葉について（詩 119:105）。彼らは彼らは、その時代にふさわしい神聖な真理を世界に伝える責任がありました。彼らは世代を超えて「黄金の糸」を構成していました。

初め、アダムには二人の息子がいました。彼らの中の異教徒（カイン）が正義のアベルを殺しました。アダムの次の息子はセトで、そこからエノスが生まれました。「それから彼はその名前を呼び始めました。主よ」（創世記 4:26）。彼の子孫の中に、預言者であり「歩いて歩いた」エノクがいました。神とともに」（創世記 5:24; ユダ 1:14）。彼のひ孫であるノアは、破壊についての啓示を託されました。洪水の水のほりで世界を救った（創世記 6:8,9,13-17）。神は彼にこう言われました。契約」（創世記6:18）。ノアには「セム、ハム、ヤベテ」という3人の息子がいました（創世記 5 :32）。アブラハムが所属していたセムの血統にあるノアから10代目。神は彼を神の保管所として栄誉を与えた。人類に約束し、「あなたによって、地上のすべての家族は祝福されるでしょう」（創世記 4 章）。12:3）。彼についてはこう言われています。「アブラハムは私の声に従い、私の戒めを守りました。戒め、わたしの掟、わたしの律法」（創世記 26:5）。

真の教会は、時間が経っても常に同じであるとは限りません。選ばれた人たちがそうしないとき彼らは両親の例に従い、他の人は責任を引き受けました。アブラハムはイサクを生みました。神の教えによれば、長子（長男）はエサウとヤコブを生みます。家族の精神的遺産、オンライン世界の神聖な光の宝庫となる連続して。しかし、エサウは長男であったにもかかわらず、「自分の生得の権利を軽蔑していた」（創世記 2:3）。25:34）。こうして祝福はヤコブに伝わり、後にヤコブの名前はイスラエルに変更されました。（創 32:28）。その後、彼の子孫は多くの人にとって真理を寄託する人々となった

何世紀にもわたって。

ダビデの統治の後、イスラエルは2つの王国に分かれました。南の王国は諸部族を集めたものでした。ユダとベニヤミン、そして北の部族と他の10部族（列王記12章）。設立直後王国北部の部族は神から背教し、「二頭の金の子牛」の崇拜に転じた（列王上 12:28）。神の知識は南王国によって保存され続けました。以来、ユダの部族はもっと多く、南王国の国民についての言及がなされるようになった。「ユダヤ人」という名前は、キリストの誕生の時まで何世紀にもわたって続いた宗派です。

そして、「神は古代、さまざまな方法で先祖たちにこう語られました。

預言者を通して」、ついには「御子を通して」主イエス・キリストご自身の教会に光を送りました。

(ヘブライ人への手紙 1:1)。しかし、選ばれた人々は光を拒否しました。ユダヤ人たちは「不正な者の手によって」イエスを十字架につけました
ローマ人への手紙 (使徒言行録 2:23)、「エルサレムにあった教会」を迫害しました。そして彼らは皆散り散りになった。」

(使徒 8:1)。彼らは自分たちの領域から光を追放し、心の中でそれを歓迎した人々とともに光は消え去った。
キリストの使徒によって牧会されるキリスト教会。かつて選ばれた人々はもはや教会ではありませんでした
真実。代わりに別のものが育てられていました。このことを証言して使徒たちはこう言いました。

ユダヤ人の指導者たちに、「ナザレのイエス・キリストは、あなた方、建築者、建設者たちによって拒絶された石です。
これをコーナーヘッドが決めた。そして、他の誰にも救いはありません」(使徒言行録 4:10-12)。

初代教会の例を見ると、神に選ばれた者は、

メンバーの中で最大の派遣団であり、支配者の好意も得られなかった。そうした人々の「群衆」
ペンテコステ前に上の部屋に集まった人は「百二十人」に達しませんでした(使徒行伝 1:15)。あなたの
会員たちは「この世のゴミ」「すべての人のくず」とみなされました(1コリント4:13)。しかし
世間一般が彼女に向けた軽蔑にもかかわらず、彼女は天から啓示によって栄誉を受けた。

神の意志によるものであり、その光を受け入れ、登録し、発表するかどうかは彼次第でした。

真の教会は非常に高い料金を支持されてきましたが、神聖な歴史
歴代の時代における、それに関連する悲しい章を記録しています。繰り返し、歩いた後、
選ばれた教会の指導者たちは、受け取った光に従い、ある時、次の点に達しました。
天から送られる特定の光を拒否します。

それは神が彼らを見逃して、最初に他の人に与えたからでしょうか
会衆の成員が、あるいは単に世の愛が彼らを盲目にしていたからです。
彼らは神の言葉に従うことにもっと興味を持っていましたが、結果は同じでした。彼らは光を拒否しました。
彼らは使者を聖体拝領から排除し、迫害し、殺害しました(これが彼らの選択であった場合)。
許可された)。拒絶の結果、抱き合う者との間に内的亀裂の過程が生じた。
他のものは光を拒否し、輪郭が描かれた2つのブロックを形成しました。その後、彼女は成長して、
オープンな分離。

その結果、2つの教会ができました。最初の教会は天の光を拒否し、
人間によって擁護され維持されている宗教の形態、教会のインフラ、そして
大多数の国民の支配。2つ目は、決定を下すために迫害され排除された人々によって形成されます。
世俗的な恩恵やインフラをほとんど、またはまったく持たずに、受け取った神の光に従います。
しかし、天の光を享受した後、より多くの光が好まれ、新しいものとなった。
その時代にふさわしい神聖な真理の保管庫。迫害する教会はこうなった
神の目、それは他の多くの現代の宗教的側面のうちの一つにすぎません。その間
迫害された女性は、神の導きの働きにおいて「黄金の糸」を継続するために神によって利用されたということ
絶えず神の僕であり、イエス・キリストが何世代にもわたって真実であるように真理を宣べ伝えます。

上で明らかにした原則に照らして、教会が背教の道を歩み始めるときはいつも、神は預言者を通して、もし自らが正さなければ、それに続く別の者の出現を告げました。この事実は、次の章で見る真の教会のもう一つの特徴を示しています。

第4章

聖書の預言における真の教会

神に選ばれた民が神の意志に執拗に反逆したとき、イエスはご自身のやり方に従い、ご自分に代わる人物が選出されることを預言されました。選ばれたものそうではなくなった。彼の場所は他の人に与えられました。

サウルがイスラエルの王としての地位にふさわしくないことを反逆して示したとき、神の御心である預言者サムエルは、次のように告げるために遣わされました。主よ、主はあなたをイスラエルの王から退けられました。そしてサミュエルが振り返ったとき、あなたが行くと、彼はあなたのマントの端を掴んで引き裂きます。そこでサムエルは言った、「主は引き裂かれた」イスラエル王国は今日あなたのものであり、あなたよりすぐれた隣人に与えたのです」（サムエル15:26-28）。こうして新しい王の到来が告げられた。しばらくして、神はサムエルに油を注ぐように言いました。デビッド。「主はサムエルに言われた、『わたしがサウルを退けたのに、いつまであなたはサウルを憐れむのか』イスラエルを統治していないのか？……私はあなたをベツレヘム人エッサイのところに送ります。私はあなたの子供たちの中にいるから王に与えられた...それからサムエルは油の入った器を取り、兄弟たちの真ん中で彼に油を注ぎました。それは、その日以来、主の霊がダビデの上に臨んだ」（サムエル16:1,13）。

聖書の歴史を通じて、神の民に対するこのような態度が依然として残っていることがわかります。変更なし。イスラエルの人々が取り返しのつかない反逆と背教に陥ったのを見て、彼はこう鼓舞した。エゼキエルは、キリストの奉仕を通して、自分の墮落とキリスト教会の出現を預言しました。こちらが預言：「そして、冒瀆的で不敬なイサレルの君よ、極度の邪悪の時代にその日が来るでしょう。主なる神はこう仰せられる、「王冠を脱ぎ捨て、王冠を掲げよ。これは同じではありません。を称賛する謙虚で誇り高い人を謙虚にします。ひっくり返して、ひっくり返して、ひっくり返して、それを置きます、そしてそれはもうなくなるでしょう、その時までそれが正当に属する者に来させなさい、そうすれば私はそれを彼に与えます」（エゼキエル 21:25-27）。

そして、新しい教会の出現、キリストの宣教の始まりの時は、預言の中で具体的に指摘されています。ダニエル 8章14節にはこう書かれています。朝が来れば聖所は清められるだろう。』預言者が幻を受けた直後、最初、「何もありませんでした」それを理解した人は誰でも」（8:27）。しかし、すぐに天使ガブリエルが遣わされ、次のように説明されました。「あなたの民とあなたの聖都には70週間が定められています...知っておいてください」

理解する :エルサレムを修復し建設する命令の発令から、油そそがれた者、君主まで、7週と三点と二週間」(ダニエル 9:24,25) 。の修復と再建の命令
エルサレムは時を数える出発点でした。それは法令によって実現された
アルタクセルクセス、紀元前 457 年。それ以来、69 週の年 (7 + 62 - 25 節)、または
メシアが来られるまで483年かかります。「油そそがれた」という言葉は明らかに、
キリストに聖霊を注ぐこと。これはバプテスマの時に行われた。「イエスがバプテスマを受けたとき、
彼はすぐに水から出てくると、見よ、天が彼の前に開かれ、神の霊が鳩のように降りてくるのが見えた。
そして彼に臨みます」(マタイ 3:16) 。紀元前 457 年から 483 年を数えると、西暦 27 年になります。
キリストは霊を受けて宣教を始められました。

ダニエルは次のように言われました。

市"。これらは、イスラエルが依然として民族と考えられていた期間に相当します。
選ばれた。合計すると 490 年 (70 週 x 7 日) になります。紀元前 457 年から、紀元後 34 年に連れて行かれます。今年、
ユダヤ人たちは使徒教会の執事ステパノを石で打ちました。そして、「あの日、
エルサレムにあった教会に対する大迫害。そして彼らは皆、各地に散らばっていました。
使徒を除くユダヤとサムリア…しかし散らされた人々はどこにでも行った
御言葉を宣べ伝えます」(使徒8:1,4) 。福音はもはやユダヤ人に限定されませんでした。あなたの時間
選ばれた民としては終わった。

ユダヤ教会は使徒に引き継がれました。それ以来、約束を読むと、
旧約聖書のイスラエル、読者は子孫には適用されないと考えるべきです
イスラエル人からの血ですが、福音を信じる者に与えられました。というのは、パウロが靈感を受けたように、
「彼は外見上ユダヤ人ではないし、また外見上ユダヤ人である割礼を受けているわけでもない。
生きている。しかし、彼は内なるユダヤ人であり、割礼は心、霊におけるものです。」
2:28,29) 。 「イスラエルのすべての人がイスラエル人であるわけではないからです。彼らはアブラハムの子孫だからでもありません。
すべての子供たち…つまり、神の子供たちは肉の子供たちではなく、約束の子供たちです。
子孫として数えられます」(ロマ9:7,8) 。言い換えれば、子供たちは次の約束を信じる者です。
神はイエス・キリストの中に造られました。

神が何世紀にもわたって教会が派閥に分裂することを予告したのも預言によるものでした
その後の時代、そして将来、社会を回復することを目的とした教会の出現。
真実。への手紙の中で、使徒教会の時代にまだ背教があったことについて言及している。
黙示録の最初の教会はこう言いました。

したがって、自分がどこから落ちたのかを思い出し、悔い改めて最初の行いをしなさい。そうでないときは、
あなたが悔い改めない限り、私はすぐにあなたのところに行き、あなたの燭台をその場所から取り除きます」(黙示録2 :4,5) 。
使徒パウロは、彼の殉教 (西暦66年に起こった)の後、背教が世界に入るだろうと発表しました。
教会：「私が出発した後、野蛮なオオカミがあなたたちの中に入るだろうということは知っています。
彼らは群れを許しません。そして、あなたがたの中から話す人たちが現れるように。

弟子たちを引き離すために悪者たちを従わせたのだ」(使徒20:29,30)。同じスピーチの中で、あたかも彼は背教の動機となった理由を示したいと考えて、教皇の態度とは対照的な態度を示した。彼の信奉者とされる偽教師たちが現れてこう言った。「私は人の銀も、彼の金も欲しがりません。金も衣服もありません」(使徒20:33)。

パウロは一神教を教えました。彼はこう述べ、使徒教会の信仰を宣言した。

純粹さ：「天上であろうと地上であろうと、自らを神と呼ぶ人もいますが、

(多くの神や多くの主がいるように)しかし、私たちにとって神はただ一人、父であるのです」(1コリント8:6)。

しかし、彼の死後すぐに、「三位一体」への信仰を宣言する人々が立ち上がりました。

当時知られていたように、起源は疑いもなく異教でした。カトリック教会、その継承者

他のすべての教義は三位一体に基づいています(出典:カトリック教理問答)。したがって、もし

それは使徒教会の継続、または直接の霊的子孫であると主張していますが、

実際、彼女は「狼と男たち」に率いられた異端派の子孫である。

彼らは弟子たちを自分たちの後に引き寄せるために、ひねくれたことを言ったのです」(使徒20:29,30)。人は

彼らは、神の靈感を受けて使徒パウロが築いた真理を破壊するために働きました。にありませ

誰の銀も金も衣服も欲しがらなかった使徒の歩みとは対照的です。

指導者たちは、あまりにも多くの金、銀、高価な衣服を蓄積し、

この教会に関する啓示：「それは紫と緋色の服を着て、金と金で飾られていました」

宝石や真珠、そして手には忌まわしいものと汚物で満たされた金の杯を持っていました。

彼女の売春について」(黙示録17:4)。

黙示録で予告されていたように、異端派は燭台を取り上げられました。このように理解されます。燭台は光を運ぶものだからです。そして、霊的な意味で、聖書は「私たちの足のともし火」です。

そして私の道に光を与えてください」(詩119:115)。御言葉の真実を拒否することによって(一神教 - 一つ父なる神)をパウロが教え、それを人間の理論(三位一体)に置き換えると、

彼らは光よりも暗闇を好み、自らの意志で光の燭台を懐から取り除きました。そして彼は行った

真理に忠実であり続けた教会の別の派閥 - 少数派を代表し、

何世紀にもわたって厳しい迫害を受けてきました。

この線に沿って、イタリア北部のワルドー派の教会、

北アフリカの教会、そしてそこかしこにある他の人々、忠実な使徒教会の残党たち。あなたの

黙示録第二教会スミルナの予言で存在が指摘されている。手紙の言葉

彼らが異端派のメンバー(多数派)から受けた侮辱と迫害、そして

純粋な真実への信念を維持するために彼らが直面した危険。彼らはこの世の品物に乏しく、

しかし信仰は豊かです。イエスはこう言われました、「わたしはあなたの業と艱難と貧困を知っています(しかしあなたは金持ちです)。

自分たちはユダヤ人であると主張し、実際はそうではなく、サタン(悪魔)の会堂であると主張する人々に対する冒瀆。何も恐れない

あなたが苦しむであろうこと……死ぬまで忠実でありなさい、そうすれば私はあなたに命の冠を与えます。」(黙示録2:9,10)。

忠実な教会は目立たないままでしたが、人々によって激しい戦いを受けてきました。

カトリック教会と多くの人々は、地球から光が完全に消えるかのように思われるまで屈服しました。預言

黙示録の第三教会はこのときを描いています。生き残った少数の忠実な人々に手紙を書き、

の崇拜など、カトリック教導職の非聖書的な教義を受け入れないよう警告しています。

イエスは、とりわけ偶像（像）について次のように言われます。

サタンの王座、そしてあなたはわたしの名を固く守り、わたしの信仰を否定しませんでした...しかし、わたしが持っているものはいくつかあります。

あなたに敵対するのは、バラクに詠唱を教えたバラムの教義に従う者たちがいるからだ。

イスラエルの子らの前につまずきの石を置き、彼らが偶像崇拜のいけにえを食べるようにし、

私は姦淫を犯しました」(黙示録 2:13,14)。

預言の途中で、イエスは、神と戦う時が近づいていると告げます。

カトリック教会の誤り：「わたしは口の剣で彼らと戦う」(黙示録2:16)。

その時、神は支配的な教会の内部からも、次の決定を下す忠実な僕たちを立ち上げられたのです。

人間の教えと伝統を打ち破り、制度改革を目的とした抗議活動を行う。

教会。この作品の主な名前は、間違いなくマルティン・ルター、ドイツの修道士です。

「義人は信仰によって生きる」という真理を守るために、ローマの階級社会のあらゆる激怒に直面したが、そうではなかった。

当時教会が教えていたように、悔い改めの業や免罪符を購入することによって(ロマ1:17)。

改革の画期的な出来事は西暦 1517 年です。したがって、教会の誤りは非常に大きかった

神の言葉(ヘブライ人への手紙 4:12)の剣によって戦い、ルターや多くの人々によって巧みに行使されました。

多くの迷信や単なる人間の権威による儀式から解放され、次の原則を採用しました。

プロテスタントの「sola scriptura」(信仰と実践の規則としての聖書とそれのみ)。きっかけに

神の僕であるプロテスタントは、さまざまな世代で真理を再確立するために努力しました。

彼らは聖書を研究し、カトリックの誤りを発見しました。いくつかの

それ以来、さまざまな宗派が出現し、そのすべてが一般的な宗派の下にグループ化されています。

プロテスタント、彼らのメッセージの主要な誤りに対する「抗議」の論調。言及されています

いくつかの名前：「特にルーテル派、再洗礼派、バプテスト派、メソジスト派」。

行われた努力にもかかわらず、支配的な教会は行われたすべての試みに抵抗した

それを改革しようとしたが、その誤りのままであった。これはイエスによって次のように報告されました。

教会と古代イスラエルの王アハブの妻イゼベルとの比喩的な比較。当時、

同時に女王でありバアル崇拜の売春婦でもあった。彼はしもべたちに向かってこう言いました。

女預言者と称し、わがしもべたちを教えたり騙したりする女性イゼベルをあなたが容認するとき、あなたはあなたに対して非難する。

彼らに売春をさせ、偶像崇拜の犠牲を食べさせなさい」(黙示録2:20)。

それから彼は、彼女が寛容さによって至高の地位を享受していた長い間について言及します。

神：「私は彼らに売春行為を悔い改める時間を与えました。そして悔い改めなかった」(Apoc.

2:21)。歴史によれば、ローマは西暦 538 年以来 1260 年間統治し、そのときの勅令により

ユスティニアヌス帝は、西暦 1798 年までローマ司教を教会長に任命しました。

ナポレオン・ボナパルト軍のベルティエ将軍は、教皇ピウス4世を投獄し、ピウス4世は2015年に死去した。亡命。彼女の破滅はイエスによっても予告されていました。「見よ、わたしは彼女をベッドの上に寝かせる。彼女と姦淫を犯すなら、その行為を悔い改めない限り、大きな艱難が来るだろう。そして死ぬまで殺します。そうすれば、すべての教会は私が心と心を探求する者であることを知るでしょう。そしてわたしは、おのおのその行いに応じて、あなたがたに与えます」（黙示録 2 :23）。

次にイエスは、当時自らを解放しようとしていた忠実なプロテスタント教会に語りかけます。カトリック教会が教えている間違いと伝統について次のように述べています。「しかし、あなたたちと残りの人々に言います...この教義を持っていない人は、持っているものを、わたしが来るまでしっかりと持っていなさい」（黙示録 2:25）。

プロテスタントはしばらくの間、地上で神の黄金の糸に従ってきましたが、やがて、彼らは始めた良い仕事を止めてしまいました。改革の大きな失敗は改革を止めたことだった。改革。もし彼らが前進していたら、三位一体への信仰などのいくつかの誤りを放棄していたでしょう。とりわけ使徒教会の時代における背教の根源。

プロテスタントが聖書を調べてそれに従うという最初の意欲に言及し、彼の信仰の単純さ イエスは、「あなたが持っているものは何でも、わたしが来るまで持ち続けなさい」(黙示録2:25)と言われました。しかし、最初の改革者たちの後を継いだ世代は、そのアドバイスに耳を傾けませんでした。ちょうどいい。そこでは教皇の崩壊が目撃され、それとともにかつては純粹だった教会も迫害が停止した。彼はそれを断り、世俗的な慣習を吸収した。イエスのアドバイスは、「その時まで忠誠を保つ」というものでした。わたしは来ます」（黙示録 2:25）。これらの言葉は、次のようなメッセージの性質を明確に示しています。キリスト教世界では、キリストが間もなく地上に戻ってきて、ご自分の民と悪人を裁く。しかし、当時の真の教会は気づかぬうちに、自分たちには次のことができないことに気づきました。光を見てください。イエスは当時の自分の状態について、第五教会に宛てた手紙の中でこう述べました。黙示録：「サルディスにある教会の天使にこう書きなさい。...私はあなたの働きを知っています、あなたの名前は知っています。」あなたが生きていて死んでいること。警戒して、残りの死にそんな人を確認してください、私は考えていなかったのも、あなたの作品は神の前に完璧です。したがって、あなたが受け取ったこと、聞いたことを思い出して、それを保管し、悔い改めなさい。そして、もしあなたが見ていないなら、私は泥棒のようにあなたに襲いかかります、そしてあなたは何時に襲いかかるのか分からないでしょう。わたしは来ます」（黙示録 3:1-3）。

サルディスの霊的状況に陥った教会に希望はありません。彼女は霊的に死んでいるからです。イエスはこう言われました、「わたしは泥棒のようにあなたに襲いかかります」、これがイエスの真理です。彼は彼女が予期せずに突然彼女のところにやって来て、「そしてあなたは私が何時にあなたのところに来るか分からないでしょう」。へ。プロテスタント教会は訪問の時間を知りません。公言する神の教会。サルディスに代表される人々は、天の光を認識せず、それを拒否する用意ができていました。メンバーは霊的なことに焦点を当てていませんでした。この状態なら確実に交換です。もう一つのために。そしてそれが、預言の歴史が証明しているように、実際に起こったのです。

1820年代半ば、バプテスト教会の会員であるアメリカ人のウィリアム・ミラーは、彼はダニエル 8章14節の預言を研究しており、その預言が成就したのが1844年であることを発見しました。

そのテキストには短い行で、「二千三百の夕と朝が来るまで、そうすれば聖所は清められるだろう」と書かれていた。時間の数え始めは、紀元前 457 年のアルタクセルクセスの法令によって始まりました。少し。それ以来、1844年に終わるまで2300年が経過しました。地球は神の聖域であるという当時の一般的な意見（聖書的な根拠はありませんでしたが）で、彼はキリストは地球を浄化し、あなたの人々を探してください。当時の光を考慮すると、誰も彼の意見に反論できませんでした。教えとキリストの降臨のメッセージは世界を征服しました。キリスト教、特に説教の中心地である米国は 2 つのクラスに分けられました。1 つはアドベントのメッセージです。そして、同じことに反対するもう一人。

新しい真の教会の誕生の動きは、次の例に従って繰り返されていました。過去数世紀に起こったこと。まず第一に、派閥間に内部亀裂が生じました。そして誰もがそれぞれの宗派に留まりました。それはその後成熟しました。アドベント信者が排除されたり、切り離されたりする、目に見える分裂。場合によっては、自発的に奇妙な民族に団結し、そのあだ名が付けられた「アドベンチスト」。

アドベンチストたちは誠実ではあったものの、時間が経つとひどく失望した預言（1844年10月22日）で指摘されましたが、イエスは戻ってきませんでした。時間に関する解釈預言の成就には触れられないものでした。しかし、彼らは果たすべきイベントにおいてミスを犯してしまいました。後になって初めて分かりました。聖書によれば、「聖域」という言葉は地球を指すものではありませんでした。地球ではなく、キリストが私たちのために奉仕する天国の建物です。パウロはイエスが「天上で陛下の玉座の右に座し、そこで「聖域の大臣」として働いている。それは人間ではなく主が建てられた真の幕屋である」（ヘブライ人への手紙 8:1,2）。入ってすぐに同様に、イエスは復活後、人間のためにとりなしとして働きを始められた。聖書が次のように証言しているように、神に祈りと賛美を捧げます。神と人との間の仲介者、人イエス・キリストです」（1テモテ 2 :5）。

終わりの時、教会を求めて地球に来る前の彼の最後の仕事は、天の記録簿からの信者の罪。この点に関して、聖書は私たち全員に次のように告げています。私たちの作品が収録された本があります。ネヘミヤは尋ねました。「神よ、私を思い出してください。わたしが神の家とその行事に対して行った親切を消し去ってはなりません」（ネム書13:14）。イエスは、あらゆる時代でご自分に仕えてきたすべての人を裁き、彼らのケースを定義します。永遠の生か死か。

詩編作者は神の僕たちを迫害する自称信者たちについて次のように述べています。

「生ける者の書に記され、正しい者たちとともに書かれてはならない」（詩69:28）。そして、頑張っている人には「勝利する者……私は決してその名を命の書から消し去らない。それは

わたしは父と御使いたちの前で彼の名を告白します」(黙示録3:5)。「私自身、私は自分のためにあなたの罪を消し去る者であり、私はあなたの罪を覚えていません。」(43:25)。彼は、最終的には忠実な民の罪を消し去ると約束しました。この作品はあらかじめ仕組まれていた宗教暦の最終日、つまり7番目の10日目に命じられたヘブライ語の儀式によって月。最初の月は、春分後の最初の上弦の月から始まりました。それはいつも3月から4月の間に起こりました。したがって、7番目の月は9月と一致し、10月。宗教年の間、各家族の代表者は聖域に来て、次のことを行わなければなりません。少なくとも一度は、家族の罪のために犠牲を捧げ、次のことへの信仰を表明するために。キリスト・イエス、世の罪を取り除く神の子羊。一年最後の日、大相撲ヘブライ人の司祭は、キリストが将来行う働きを代表して、清めの働きを行った。あるいは罪の消去。その日だけ、彼は部屋の一番奥の区画に入った。

「最も聖なる」と呼ばれる聖域は、ベールによって前の聖域（聖なる）から隔てられています。そこで彼はこう言いました。主は大祭司アロンに関してモーセにこう言われました。

いつでも、幕の中に、箱舟の上にある慈悲の座の前にある聖所として、彼が死なないこと。というのは、私は慈悲の座の上の雲の中に現れるからです。これでアロンは聖所：罪のためのいけにえとして雄牛とともに…その日、あなたのために罪の償いがなされるからです。あなたを浄化するために。そうすれば、あなたは主の前ですべての罪から清められるであろう」(レビ16:2、3、30)。

この作業の機会に、聖域の外にいる人々には明確に次のような命令が下されました。

「そして、だれも会衆の幕屋で贖いをするためには入るときは、その中にはなりません」彼が自分自身と彼の家と全体のために償いをして出て行くまでの聖域イスラエルの会衆」(レビ記 16:17)。これは、イエスが定めの際に、天の聖所で罪が清められるなら、そこには人間は存在しないでしょう。ダニエル 8:14、著「二千三百の夕と朝が来て聖所が清められるまで」という言葉は、このことを指摘しました。二度目の地球帰還の直前に聖域で行われるキリストの働き。1844年に、イエスは天の聖所の最も神聖な区画に入り、清めの働きを始めることになります。

アドベンチストたちは預言に示された時間を正しく解釈しました。しかし彼らは間違いを犯しましたイベント。イエスは予想通り地上には来ず、天の聖所の最も聖なる場所に入られることになった。しかし、アドベンチスト運動は、神の民を揺るがし、人々を分離するという神の目的を達成しました。この世を最も愛した者たちの出現に備えることを望んだ者たち。後に失望、自称信者の圧倒的多数さえも離反した。ただし、彼らは忠実であり続け、すぐに自分たちの間違いがどこにあったかに気づき、より多くの光に恵まれました聖書の真理である「小麦ともみがら」を分けるという任務において彼らを導いた聖書から彼らが出身した会衆にまだ隠されている偽りの教義について。このマットの上で、聖書の研究は、何世紀も前にルターによって始められた教義改革の仕事を完成させました。

一神教と土曜日を祝日として守るという 2 つの重要な真実を回復します。

休む。

1844年にイエスが渡った至聖所の扉に言及し、少しずつ

失望の後にも忠実を保った残りの人々にとって、黙示録の預言は次のことを表しています。

フィラデルフィアへの手紙にある次の言葉によるアドベンチスト運動。

工事;見よ、わたしはあなたの前に開いた扉を置いたが、誰もそれを閉めることはできない。体力がほとんどなく、あなたはわたしの言葉を守り、わたしの名を否認しませんでした」(黙示録3:8)。

1863年、アドベンチストは正式に教団を組織し、

「セブンスデー・アドベンチスト」という名前は、そのメッセージの特徴的なマークにちなんで付けられています。

キリストの差し迫った再臨と、週の7番目の安息日を主の日として説教し、

第四戒に書かれているとおりです。彼らはまた、唯一の神である父の存在を信じていました。

特に、彼らは使徒教会の時代以来隠されていた真実を回復しました。

それはパウロが宣言したことです。「しかし、私たちにとっては唯一の神、父がおられるのです」(1コリント8:6)。

アドベンチストは数十年間、自分たちが受けた光に忠実であり続けました。

しかし、秘宝のように真実を掘り起こした先駆者の死後、

次の世代は忠誠を放棄した。彼らは一神教を放棄し、服従した。

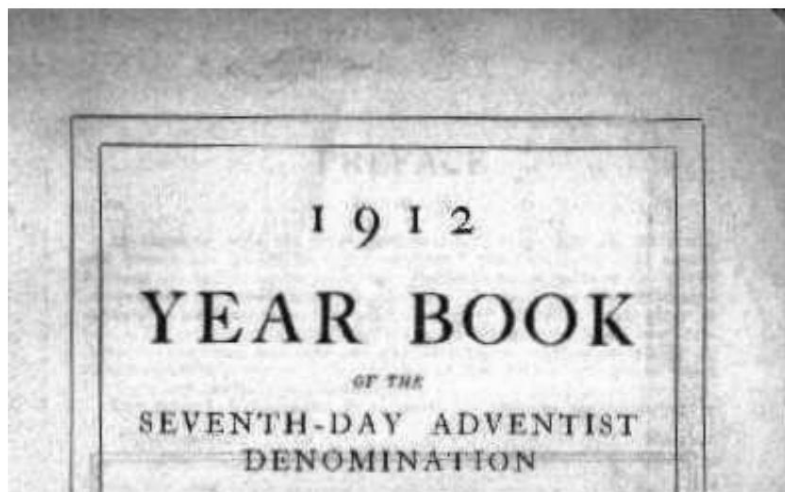
霊的に語ると、偽りの教義、つまり三位一体に囚われてしまいます。移行の枠組み

それは、1931年に宗派の年鑑に掲載された信念の声明によって証明されています。

この本は唯一の神への信仰を指摘しました。その年、それは変わりました。書類は以下の通り

1912年と1931年の信念の宣言が含まれており、信念の対照を示しています。

オリジナルと変更されたもの:



FUNDAMENTAL PRINCIPLES OF SEVENTH-DAY ADVENTISTS.

By the late Uriah Smith.

Seventh-day Adventists have no creed but the Bible; but they hold to certain well-defined points of faith, for which they feel prepared to give a reason "to every man that asketh" them. The following propositions may be taken as a summary of the principal features of their religious faith, upon which there is, so far as is known, entire unanimity throughout the body. They believe:—

1. That there is one God, a personal, spiritual being, the Creator of all things, omnipotent, omniscient, and eternal; infinite in wisdom, holiness, justice, goodness, truth, and mercy; unchangeable, and everywhere present by his representative, the Holy Spirit. Ps. 139: 7.
2. That there is one Lord Jesus Christ, the Son of the Eternal Father, the one by whom he created all things, and by whom they do consist; that he took on him the nature of the seed of Abraham for the redemption of our fallen race; that he dwelt among men, full of grace and truth, lived our example, died our sacrifice, was raised for our justification, ascended on high to be our only mediator in the sanctuary in heaven, where through the merits of his shed blood, he secures the pardon and forgiveness of the sins of all those who persistently come to him; and as the closing portion of his work as priest, before he takes his throne as king, he will make the great atonement for the sins of all such, and their sins will then be blotted out (Acts 3: 19) and borne away from the sanctuary, as shown in the service of the Levitical priesthood, which foreshadowed and prefigured the ministry of our Lord in heaven. See Leviticus 16; Heb. 8: 4, 5; 9: 6, 7.
3. That the Holy Scriptures of the Old and New Testaments were given by inspiration of God, contain a full revelation of his will to man, and are the only infallible rule of faith and practise.
4. That baptism is an ordinance of the Christian church, to follow

翻訳：

「1.神が存在し、人が存在し、霊的存在が存在し、万物の創造主が全能であること、
全知かつ永遠、知恵、聖さ、正義、善、真実、慈悲においては無限です。
不変であり、彼の代理人である聖霊を通してどこにでも存在します。詩篇 139:7

2.主イエス・キリストは一人であり、永遠の父の御子であり、彼を通してすべてのものを創造されたということ
セブンスデー・アドベンチストの基本原則 - 年鑑
セブンスデー・アドベンチスト宗派のメンバー - 1912

1931年に信念が変わり、「三位一体」が彼らの集団に導入されました。

1931

YEAR BOOK

OF THE

SEVENTH-DAY ADVENTIST DENOMINATION

Comprising a Complete Directory of
the General Conference, all Union
and Local Conferences, Mission Fields,
Educational Institutions, Publishing
Houses, Periodicals, and Sanitariums.

PREPARED BY
H. E. ROGERS, *Statistical Secretary of
the General Conference.*

PUBLISHED BY
REVIEW AND HERALD PUBLISHING ASSOCIATION
WASHINGTON, D. C.

Printed in the U. S. A.

GENERAL CONFERENCE LIBRARY

FUNDAMENTAL BELIEFS OF SEVENTH-DAY ADVENTISTS

Seventh-day Adventists hold certain fundamental beliefs, the principal features of which, together with a portion of the scriptural references upon which they are based, may be summarized as follows:

1. That the Holy Scriptures of the Old and New Testaments were given by inspiration of God, contain an all-sufficient revelation of His will to men, and are the only unerring rule of faith and practice. 2 Tim. 3:16-17.

2. That the Godhead, or Trinity, consists of the Eternal Father, a personal, spiritual Being, omnipotent, omnipresent, omniscient, infinite in wisdom and love; the Lord Jesus Christ, the Son of the Eternal Father, through whom all things were created and through whom the salvation of the redeemed hosts will be accomplished; the Holy Spirit, the third person of the Godhead, the great regenerating power in the work of redemption. Matt. 28:19.

3. That Jesus Christ is very God, being of the same nature and essence as the Eternal Father. While retaining His divine nature He took upon Himself the nature of the human family, lived on the earth as a man, exemplified in His life as our Example the principles of righteousness, attested His relationship to God by many mighty miracles, died for our sins on the cross, was raised from the dead, and ascended to the Father, where He ever lives to make intercession for us. John 1:1, 14; Heb. 2:9-18; 8:1, 2; 4:14-16; 7:25.

4. That every person in order to obtain salvation must experience the new birth; that this comprises an entire transformation of life and character by the recreative power of God through faith in the Lord Jesus Christ. John 3:16; Matt. 18:3; Acts 2:37-39.

5. That baptism is an ordinance of the Christian church and should follow repentance and forgiveness of sins. By its observance faith is shown in the death, burial, and resurrection of Christ. That the proper form of baptism is by immersion. Rom. 6:1-6; Acts 16:30-33.

6. That the will of God as it relates to moral conduct is comprehended in His law of ten commandments; that these are great moral, unchangeable precepts, binding upon all men, in every age. Ex. 20:1-17.

7. That the fourth commandment of this unchangeable law requires the observance of the seventh day Sabbath. This holy institution is at the same time a memorial of creation and a sign of sanctification, a sign of the believer's rest from his own works of sin, and his entrance into the rest of soul which Jesus promises to those who come to Him. Gen. 2:1-3; Ex. 20:8-11; 31:12-17; Heb. 4:1-10.

8. That the law of ten commandments points out sin, the penalty of which is death. The law can not save the transgressor from his sin, nor impart power to keep him from sinning. In infinite love and mercy,

1931年:

"二。神格、つまり三位一体は、個人的、靈的、全能の永遠の父から成り、
遍在し、全知であり、知恵と愛は無限です。主イエス・キリスト、父の御子
永遠、誰によって万物が創造され、誰によって救われた万軍の救いがなされたのか
それは完成されるでしょう。聖霊、神の第三位格、偉大な再生力
救いの働き。マタ 28:19。"

もう一度、何世紀にもわたる神の黄金の糸の物語の中で、かつては忠実だった教会が彼は背教した。それはもはや真の教会の特徴に対応していませんでした。そして、いつものように神は預言を通して、別の忠実な者が現れる未来を指し示しました。再び真実を取り戻すだろう。そのプロセスも同じだろう :光の到来、内部分裂 それを受け入れる者とそれを拒否する者との間で、外部の亀裂と新しいものの出現が起こる。教会。これらすべては、次の章で見るように、預言によって示された時点でのものです。

第5章

三千年紀の預言の教会

セブンスデー アドベンチスト教会は、いくつかの点でイスラエルの歴史を再現しました。古い。第一に、それはその起源において、同じ独特の教義的特徴を持っていました。一神教と安息日の遵守。特に参考になったのは、7日目の行事。現在、それは世界で最も多くの会員を抱えるサバタリアン コミュニティです。ユダヤ人をも超える世界。そしてその歴史は同じことの成就によって特徴付けられます。過去にユダヤ人に当てはまった預言。特に注目を集めるのは、バビロン捕囚。それは彼の独特の初期の信念のもう一つ、つまり存在と関連しています。唯一の神、父の。

過去に遡ると、ユダヤ人は一神教、つまり唯一の存在を信じていました。神、父なるお方、モーセは次のように記録しました。主」(申命記6:4)。彼らは背教したため、バビロンに捕虜として捕らえられました。そこで、家臣たちは、異教の神を信じていたバビロニア人の宗教を告白することを強制された三位一体。注目に値するのは、ネブカドネザル王が建てた黄金の像の奉獻の際に挙げられた宗教的不寛容の例でした。彼はダニエルのユダヤ人の友人たちにこう言いました。シャデラク、メシャク、アベデネゴよ、あなたは意図的に私の神々に仕えたり、私の崇拝をしたりしません。私が立てた黄金の像?... 拝まないならすぐにオープンに投げ込まれるよ燃える火の」(ダニエル書 3:14,15)。

神が明らかにしたところによると、捕囚は70年間続くことになっています。この期間の後、ユダヤ人はエルサレムに戻り、唯一真の神の崇拝を再確立する権限を与えられた者たち。

剣は逃げてバビロンに持ち去られた。そして彼らはその時まで彼の召使や息子たちになった
ペルシャ王国の...70年が終わるまで。しかし、キュロス王の最初の年に、
ペルシア...主はキュロスの霊を奮い立たせ...そして彼は王国全土に布告をした。

そしてまた書面でもこう言った、「ペルシャ王キュロスはこう仰せられる...天の神、主よ...」
ユダにあるエルサレムに家を建てるようイエスに命じました。あなたたちの中で誰が誰ですか
彼の民を上らせなさい、そして彼らの神、主が彼らとともにおられますように」（II歴代誌36:20-23）。

つまり、ユダヤ人は70年間、神の崇拝者たちに服従していたのだ。

異教の三位一体。その後、キュロスの布告によって解放され、希望者たちはエルサレムに戻りました。
唯一の真の神である父への崇拝につながります（申命記6:4、Iコリント8:6）。ついでに言うておきますが、
少数の人だけが戻ってきました。ほとんどの人はすでにバビロンに定住していて、定住することを望まなかった
離れる。多くの人が残っていたことの証拠は、ユダヤ人の別の波がここに移動したという事実です。
何年も後、アルタクセルクセスの布告のもとにエルサレムが建設されました（エズラ記7章を参照）。

聖書は、過去と未来を比較する自信を私たちに与えてくれます。次のように書かれています。

つまり、これからもそうなるのです。そして、これまでに行われたことは、これからも行われます。したがって、その下には新しいものは何もありません
太陽。「ほら、これは新しいですよ」と言うことはありますか？それはすでに過去数世紀に行われていました。
私たちの前に。」（伝道 1:9,10）。安息日を守る人々が成し遂げた70年間の捕囚生活
かつて（ユダヤ人）は、現在のサバタリアン（セブンス・アドベンチスト）の人々も同様だろう。
日）。前の章で、アドベンチストが一神教を放棄し、次のことを導入したことを見ました。
1931年の公式文書で三位一体への信仰を表明しました。したがって、彼らは同じ信仰を受け入れました。
かつてユダヤ人がさらされたバビロン。それ以来、こう言われていることは事実です。
アドベンチストは霊的に「バビロン捕囚」状態にありました。あれから70年
2001年につながります（1931 + 70 = 2001）。

この宗派の歴史を知っている人なら誰でも、今年大規模な反乱があったことを知っています。

教会員の内部で、世界のさまざまな地域で、本当の変革が起きています。多くの
彼らはバビロン捕囚から抜け出し、真の神の崇拝に戻る決意をしました。ありました、
第一に、三位一体の捕虜と三位一体からの自由を求める人々間の内部分裂。
本当の礼拝。短期間で、これは分離に成熟し、名前が付けられました
場合によっては、反三位一体主義者をその中から排除したり、自発的に脱退したりした。
その結果、2つの人々が発生しました。大多数は宗派に残り、捕虜のままでした
三位一体を崇拝するバビロニア人と、多数の小さな省庁に分かれた少数派はすべて、
「唯一の神、父」の存在を認識します（Iコリント8:6）。

私たちが真の教会の変遷に直面していることは明らかでした。彼女はもうそうではないでしょう
真実に戻ることを拒否し、真実を受け入れる別の宗派となるのです。

しかし、この過程で誕生した多くの省庁の中には、崇拝の旗を掲げたものがありました。

唯一の神に対して、真の神をどうやって見分けるのか？そのためには、他の特徴を探する必要があります

神の戒めに従うことに加えて、真の教会の信条を守る必要があります。私たちが見たように以前は、彼らは「預言の霊」を持っている、つまりダニエルと預言者の預言に光を当てていました。黙示録 (黙示録 12:17; 19:10)。そしてその出現は聖書の預言によって示されています (エゼ 21:25-27)。

預言者ダニエルは終わりの時についての啓示を受けました。彼の言葉を借りれば、「いいえ、ペルシャ王キュロスの三年に、ベルテシャザルという名前のダニエルに言葉が明らかにされました。その言葉は真実であり、大きな対立を伴いました。そして彼はこの言葉を理解し、理解していました。幻の事です」(ダニエル書 10:1)。そして21日後、彼は天使ガブリエルの姿を目にしました(2-13節)。彼はこう言いました。なぜなら幻はまだ何日も経ってからです」(ダニエル 10:14)。

聖書を知っている人は、ユダヤ人に定められた70週間の終わりに、神の民は、キリストにおいてなされた救いの約束を信じる者たちで構成され始めました。ポール「というのは、彼は外見上ユダヤ人ではないし、外見上ユダヤ人であるのに割礼を受けているわけでもないからです」肉。しかし、彼は内面のユダヤ人であり、割礼は心、霊におけるものです。」 「全員ではありません。イスラエル出身者はイスラエル人です。アブラハムの子孫だからといって、彼ら全員が子供であるわけではありません...つまり、肉の子が神の子であるのではなく、約束の子が神の子として数えられるのです。子孫」(ロマ 2:28,29; 9:6-8)。したがって、「終わりの日のあなたの民」という天使の言葉は、当時の真の教会への明確な言及。それを特定するには、次のことが必要です。ダニエルの歴史的背景を理解する。

この啓示は 12 章まで続きます。そして、最後の 4 節で天使はこう言います。この言葉を閉じて、世の終わりまでこの書を封印しなさい」(ダニエル書12:4)。と言う啓示最後の教会への敬意は封印されました。しかし、黙示録では、封印された本が開かれたことがわかります。「そして、玉座に座る彼の右手に、内外に書かれた封印された本が見えた」七つの封印を持って...そして私が見ると、見よ、玉座の真ん中にいた...小羊がいた...そして彼は来て本を手にとった玉座に座る者の右手から。」 「そして、小羊が封印の一つを開いたとき、私は見ました、そして4匹の動物のうちの1匹が雷のような声で「来て見てください」と言っているのが聞こえました。そして見てみると、馬が見えました。白;そして彼の上に座っていた人は弓を持っていました。そして彼は王冠を与えられ、勝利を収めました。そして克服するためです」(黙示録 5:1-7; 6:1,2)。教会のシンボルとして「馬」が使われています。イザヤ書では、神はイスラエルの人々をキリストに導かれた馬にたとえ、巡礼に言及しました。カナンに向かう荒野：「主の慈愛と主への多くの賛美についてお話しします。主が私たちに与えてくださったすべてに従って。そしてイスラエルの家に多大なご親切を...なぜなら彼は言った、「確かに彼らは私の民であり、嘘をつかない子供たちです。こうしてイエスは彼らの救い主となりました。で彼らのすべての苦しみを彼は苦悩し、彼の臨在の天使が彼らを救いました...彼はその日々を思い出しました。モーセとその民についてこう言った、「彼らを海から引き上げた彼は今どこにいるのか」

あなたの群れの羊飼いですか？砂漠の馬のように、彼らを深淵を通して導いた者は、
つまりなかなか人は誰ですか？（イザヤ 63:7-13）。

黙示録の馬は白であり、純粋さを表しています。「主は言われる、たとえ
あなたの罪は緋のようであり、それらは雪のように白くなるでしょう」（イザヤ1:18）。あなたの
騎士は白い服を着ており、この教会を導くキリストを明確に表しています。彼は持っていた
「弧」でもあります。戦争で使用される武器の一つであり、戦闘、闘争を表します。ヤコブは言いました
ジョセフ：「私はあなたの兄弟たちよりも多くの土地の一部をあなたに与えました、そしてそれは私が持っていたものです」
剣と私の弓をエモリ人の手から」（創世記48:22）。象徴である王冠がついていました
勝利の主はこう言われます。「死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、私はあなたに命の冠を与えます」（黙示録2:10）。

つまり、簡単に言えば、ダニエルの預言の書の封印が解かれるとすぐに、ヨハネは見たのです。
キリストご自身によって導かれ、霊的闘争のさなかにくつきの成果を収めた純粋な教会。
勝利。いつ表示されるべきですか？それを知るためには、歴史的背景を分析する必要があります。
ダニエル、現代の預言史において彼がいつ再現されたのかを特定する。

ダニエルは70年間の捕虜生活が終わって2年後、天使の訪問を受けました。
バビロニア人。キュロスは治世の最初の年に、捕虜生活に終止符を打つ布告を出しました。
ペルシャ王キュロスの最初の年...主はキュロスの霊を奮い立たせた...
説教... 言って... 天の神、主は... に家を建てるよう私に命じました。
ユダにあるエルサレム。すべての神の民の中であなたの中にいる者はだれでも上ってください。」（II歴代誌 36:22、
23）。ダニエルは「キュロスの三年に」その幻を見ました(ダニエル10:3)。そして彼が訪問を受けたのはその時だった
天使は次のように言いました。
あなたの足で立ちなさい、私はあなたに遣わされているのですから...今私はあなたに何があるか理解させるために来ました
終わりの日にはあなたの民に同じことが起こります」（ダニエル10:14）。

現代では、アドベンチストはバビロン捕囚に霊的に服従しました。
1931年から、彼らは唯一の神への信仰を放棄し、三位一体を受け入れました。70年
その後、2001年に彼らの捕虜生活は終わりを迎え、彼らの多くは立ち上がって戻ってきました。
捕囚から2年後、2003年に戻ります（2001 + 2 = 2003）。
これは、現代で言えば、天使がダニエルを訪れた年に相当します。それで彼は言いました
それは「終わりの日にあなたの民」に何が起こるかを明らかにするでしょう。

最初の封印で預言が明らかになったとき、私たちは、
騎士に代表されるイエスは、「真の教会」の地位を受け継ぐ者であり、
地球上の神の「黄金の糸」への継続性。したがって、次のことが予想されていました。
2003年に純粋な教会が設立されました。
2001年以来、真の崇拜と戒めへの従順が特に顕著になりました。
日付が示されています。2003年12月に主は天使を遣わし、そのメッセージを伝えました。
アレハンドロ兄弟は、すでに説明した理由でアドベンチスト教会から排除された者の一人でしたが、

名前が挙げられた5人の兄弟と奉仕団を結成する必要がある

- アルファベット順：「アレハンドロ、ファビオ、ハイロ、ルイス、ロジェリオ」。同省は次のように設立されました。

その名も「4天使省」。

この時点で、この教会がその始まりにおいて代表されていたという事実は言及する価値があります。

「白い馬」とは、そのメンバーやリーダーに欠陥がなかった、あるいは免疫がなかったという意味ではありません。

彼らは。彼らは、地球上のあらゆる時代に主が選ばれたすべての人々と同様に、罪深い人々でした。

アブラハムは、ヤコブ、ダビデ、ペテロ、パウロ、その他多くの人々と同様に、自分の失敗を聖書に記録しました。

白馬の純粋さは、メンバーに欠点がないという事実によってではなく、むしろ

神の前にへりくだり、ただキリストの義に信頼し、キリストを信じなさい。のテキスト

ゼカリヤは、悔い改めて信じた罪人に白い衣を与える主の働きを示しています。

「そして彼は、主の御使いとサタンの前に立っている大祭司ヨシュアを私に見せた」

彼の右に立って彼に対抗した。しかし主はサタンに言われた、「主よ、あなたを叱責されますように」

サタン、そうです、エルサレムを選んだ主があなたを叱責します。これは火の中から拾われたブランドではないでしょうか？

ヨシュアは汚れた服を着て天使の前に立っていました。それから彼は自分の前にいた人々に答えた、

「この汚れた衣服を脱いでください。」そして彼はヨシュアに言った、「見よ、わたしはあなたの咎をあなたから取り去ったので、あ

なたに立派な衣を着せてあげよう」（ゼカ3:3,4）。それはひとえにキリストのこの働きの成果である

白いローブのシンボルは地上の神の教会を表すことができるということです。

真の教会はそれ自体に義を持っていません。パウロは、この提案を拒否した理由について言及しています。

真の教会としてのユダヤ人は、「神の義を知らず、神の義を求めている」という事実を重視しています。

彼らは自分たちの義を確立しようとしたが、神の義には従わなかったのです」（ローマ10:3）。の正義

神はキリストです。彼は頭であり、教会の存在理由です。教会は神の体です（エペソ1:22,23）。

主を別にして教会は存在しません。なぜなら、主の臨在だけが教会を設立できるからです。そうは言っても、

現代の歴史に戻ることができます。

この宣教は最初から、真の教会のもう一つの特徴を示していました。

「ダニエルと黙示録の預言の啓示をキリストから受ける」。宣言することに加えて、

人々は誤った信仰（三位一体）を捨てて真の崇拜に戻る必要がある。

いくつかの預言、特にダニエルの1260日、1290日、1335日の成就を発表した。

12章と、黙示録17章の獣としてのヨハネ・パウロ二世の世への出現 - 最後の預言

法王。この点で、アドベンチスト教会に由来する他のすべての奉仕の中でも、

2001年以降、将来の実現について一貫した説明を提示した唯一のものとして

ダニエルと黙示録からのいくつかの預言。他の企業は、伝統的なビジョンを維持しました。

アドベンチスト教会は一世紀以上にわたって活動してきた - これらの本のほとんどすべての預言はこうしていた

ほんの数行の同じ内容で、過去に完全に満たされたことがわかりました。

将来の出来事を示しました。

こうして、地上における神の真の教会の新しい段階が始まりました。最初は、白馬に示された闘争と勝利の経験は文字通り隊員たちの中で成就した。省。サタンはさまざまな方法で分裂と背教の精神を持ち込もうとしました。省では多くの死傷者が出たが、指導部のほとんどのメンバーは残った。キリストに執着していたので、彼女は立ったままでした。天使によって任命された者の一人は、その任務を引き受けることを拒否した。神が定めた場所が別の場所にとって代わられること。そして、度重なる揺れの結果、敵の攻撃によって推進され、管理委員会に次々と名前が挙がり、最終的には失脚した。その後、ギルマール、ネイマール、ホセ、エバンドロ、ラファエル、ハイメ、ブルーノ、ルーカス、ジェファーソン。予想されるのは、倒れた人も悔い改めて戻ってくるかもしれません。

しかし、終わりの日の教会に関するダニエルの預言の啓示はそうではありませんでした。終了した。最初の封印の後、神の子羊であるキリストが第二の封印を開きました。始まりました。それから教会の別の章ですが、これは一方でははるかに悲しいものです。しかし、その一方で、次のことが示された。スピリチュアルな観点から、輝かしい未来の見通しをもたらす、新しい時代の前触れ、以下で見るように。

第6章

新たな予言教会の震撼と出現

「そして、彼が第二の封印を解いたとき、私は第二の獣が言うのを聞いた、「来て見なさい」。そしてもう一つ出てきました。赤い馬;そしてそれは、地球から平和を取り戻すために、その上に座っていた者に与えられました。殺し合う。そして彼は大きな剣を与えられました。」（黙示録 6:3,4）。とは対照的に、最初の封印では馬の白さが、2番目の封印では教会が赤い印で表されています。これは罪の象徴です。「主は言われます。たとえあなたの罪が... 深紅に染まり、白い羊毛のようになる」（イザヤ書 1:18）。予言は崩壊を予告していたスピリチュアル - 白から赤へ。このため、騎士に代表されるイエスは、分離を促進するでしょう。「それは、地球から平和を取り戻すために、それに座った者に与えられたものです。」この言葉の意味はルカの文章で次のように説明されています。いいえ、言っておきますが、むしろ意見の相違です。なぜなら、これからは5つの家が3つの家に分かれることになるからです。2対2、そして2対3。」（ルカ 12:51,52）。本文の言葉には意味が詰まっており、事実の物語からわかるように。

省発足から約5年後の2008年6月から7月にかけて、ある出来事が起きた。

これは、数年後に部門を決定する最初のマイルストーンとなりました。の1つ

委員会のメンバーは、「しかし、私たちにとって神はただ一人、父である」というタイトルの本を書きました。

その後、慣例通り、彼はそれを検討のために委員会に提出し、委員会の承認を待った。

出版を続けてください。この提案の提出は委員会で否定的な反応を引き起こした。

何人かは、この資料を著者の名前を付けずに何らかの形で出版すべきだと提案しました。

この疑惑は今日では嫉妬によるものであると理解されています。理由はともかく、当時は、

著者は押し付けを受け入れ、最終意見を待った。18か月経ってもまだ

委員会からフィードバックを受けました。彼がこの事件を委員会の別のメンバーに報告したのはその時だった -

アレハンドロは、他人の明らかな先延ばしと悪意を見て、著者の次のような行動を支援しました。

委員会の承認がなくても印刷することはできません。という印象を与えないようにするため、

委員会の他のメンバーを考慮せずに主導権を握ったため、本は次のように印刷されました。

作者の名前。当時、著者は『O Oitavo』という本を書き終えていた。しかし、それを見た後、

前作の依頼はすでに終わっていたが、彼は弟のアレハンドロとともに、それをそのまま出版することに決めた。

委員会の承認。

「にもかかわらず、私たちにとって神はただ一人、父である」と「第八」という二つのタイトルが当時付けられました。

同時に出版され、2008年6月に準備が整いました。

この取り組みを支援した委員会のメンバー - 著者のハイロ、アレハンドロ。彼らがそれを知ったとき

何が起こったのかについて、委員会の他の3人のメンバーは、そのような資料は「組織のものではない」と宣言した。

それは著者の個人的なイニシアチブであったため、省に伝え、彼らの解釈による事実を世間に広めました。

委員会のメンバーシップを「3対2」に分けることが決定されました。まさにその方法

ルカ 12 章で預言されました。預言は成就しました。

同じ章の前半の数節で、イエスは問題の性質について次のように述べています。

部門を決定することになります。2つのグループが言及されています。1つはメッセージの伝達を担当するグループ、もう1つはメッセージの伝達を担当するグループです。

「適時に配給を与えること」と、批判する仕事に従事する別の者：「そして主は言われました、それは何ですか、忠実で賢明な管理人が、主が召使たちに任命し、彼らに旬の時期を与えてくれるからである。

部分？主人が来たとき、このようなことをしているのを見つけた僕は幸いである。で

実を言うと、彼は自分の全財産を彼に委ねるだろう。しかし、もしそのしもべが心の中でこう言ったとしたら、私の主は来るのが遅れています。そして使用人や女中を殴り、食べたり飲んだりし始めます。

酔え、その召使の主人は予期せぬ日、予期せぬ時間にやってくるだろう

知っているのを、彼を引き離し、不信者たちとの分け前を彼に与えるでしょう。」（ルカ 12:42-46）。批判とは次のように説明されます。

「使用人やメイドを殴る」という表現は、結果として他人を傷つけるという同じことを引き起こすからです。唯一の違いは、拳の代わりに舌が使われることです。

イエスは、悪業に従事する者はそこで止まらなると宣言されました。彼らは「食べる」という点で進歩し、飲んで酔う。『飲食は文字通りの意味ですが、「酔う』は

スピリチュアル。「飲む」の直後に「酔う」という言葉を使うのは意味がありません。両方ともそうだった場合、同じ考えを伝えるために使用されます。

どちらのこともスプリッターパーティーで起こった。大多数を占めていた人たちは、委員会は食事に関する聖書のガイドラインから徐々に離れていきました。からです
それ以来、彼らは委員会にもたらされた真実を拒否し続けていますが、それは霊的な意味で「酩酊」と訳されます。なぜなら、聖書では、純粋な水は真の教義を表しており、一方、識別力を歪めるアルコール性のワインは誤った教えを表します。イエスはこう言いました。「わたしが与える水を飲む者は決して渴くことはない、わたしが与える水はその人の中に入るからである」永遠の命へと湧き出る水の泉である」(ヨハネ4:14)。そして、偽りの教会の教えに関しては、黙示録のバビロンについてはこう言われています。

彼女は自分の淫行の怒りのぶどう酒を飲ませたのです」(黙示録14:8)。

話に戻ります。委員会は、事前に示されていたように、3対2に分かれました。

2番目の封印(地球から平和をもたらす)、そしてルカ12章にあります。2人はメッセージを伝えるために働いていました
新しい本を通じて人々に「その時代の食べ物」を提供する一方で、3人は批判する仕事。それ以来、両方の本の著者によって新しい光がもたらされました。
次々と拒否される。

その後すぐに、この本の著者は、
信仰による義認の主題に光を当てることが知られている研究を入手する。それは~についてだった
当時94歳のロバート・J・ウィーランド牧師とその仲間たちが作成した資料。彼らはいた
セブンスデー・アドベンチストに提供された信仰による義認のメッセージに関する研究
ミネアポリスで開催された総会と呼ばれる世界会議の一つで、
1888年のミネソタ州。使者はこの宗派の2人の牧師、アロンソ・T・ジョーンズとエレットだった。
J.ワゴナー。一人目は歴史教師でもあります。二人目、医者。そのわずかなせいで
当時の年齢(それぞれ37歳と33歳)が理由で、彼のメッセージは拒否された
エレン・G・ホワイトと数人の例外を除いて、運動の先駆者である長老たちによって
羊飼いたち。その結果、メッセージは埋もれてしまいました。

このメッセージを含む牧師の本は、
ロバート・ヴィーランド牧師とその同僚ドナルド・K・ショートによる努力が再び話題となった。
興味。これら二人の牧師は、宗派の総会に次のような文書を提出した。
1888年の再調査(1888年の再調査)では、彼らはメッセージの拒否を指摘しました。
エレン・G・ホワイト氏が指摘したように、組織のリーダーシップについての重要なトピックについて説明しました。
同じ。これはその目的ではなかったが、資料は教会の信徒の手に渡った
そして彼らによってそれは世界のさまざまな地域に広められ、翻訳され、広まりました。光はできなかった
動けなくなる。神は「光あれ」と命じられました。

ヴィーランド牧師とショート牧師は指導部による厳しい監視の対象となった

彼らが扇動的であったかどうかを検証することを目的として、組織。一度あなたの忠誠心が組織では、彼らはその地位を維持することを許可されました。しかし、彼らは依然として噂の対象となり、宗派内のベールに包まれた迫害。時間が経つにつれて、一部のメンバーは、彼らは喜んで光を受け取り、彼らに加わり、1888 と呼ばれるグループを結成しました。光を広めることを目的とした委員会。ウィーランド牧師は友人たちの支援を得て、23 の手紙を書きました。メッセージに関する本があり、最後は「ほぼダミーのための 1888 年」です。愚かな)は、著者が彼の自宅を訪問する直前に出版されました。

訪問中、著者はいくつかの疑問を明らかにし、多くの資料を入手した。それらを読んで、受け取った光で4天使省の他の兄弟たちを祝福できるようにしました。返却時旅行中、彼はメッセージを説明する一連の説教を行った。しかし、光は受け入れられませんでした。リーダーシップ。反体制派3人の中で最も影響力のある人物が拒否した。あメッセージは、人は新しく生まれたとき、信仰によってのみ義とされると指摘しました。「ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく創造された者です。古いものは過ぎ去りました。見よすべてが新しくなったのです」(IIコリント5:17)。「小さな子供たちよ、誰にも騙されないでください。正義を实践する者は正義であり、たとえ彼が義人であっても」(1ヨハネ3:7)。しかし、それを拒否した人は、その男はこうなるだろうと主張しました。彼の心の変化に関係なく、神が彼を義と宣言したとき、義と認められました。どれ人間が経験を積むにつれて、それは後で起こる可能性があります。拒絶とそのその後の説教のコントラストから感じられる双方の反省が、その考えをさらに深めた。分割。

別の事実も分裂の一因となり、それが彼の言葉の成就であることが判明した。キリスト。この本の著者は、生者の裁きの始まりについて光を受け取りました。このライトのベースになったのは、エズラ記7章の物語と預言的に類似しており、その中でアルタクセルクセスは「王たち」というタイトルを付けています。「王たちの」と祭司エズラに、ユダヤ人に関して調査(調査)をするよう命じた。彼らが神の律法に従って歩んだかどうか、そしてその規則に従って彼らに刑を宣告したのです。シナリオは何を予告していたのかそれは、父なる神の命令により、生ける者の裁きの始まりに起こるだろう。王の中の王であるイエスは、地球上の生きている世代の事件の調査を開始するでしょう。のメッセージエズラ記7章は、今日私たちが理解している観点から見ると、本書の付録に全文が転写されています。エズラ記に見られる教えは、他の聖句から暗黙的に示されています。同省は以前、偶像崇拜(三位一体への信仰)を放棄し、元の世界に戻る必要性を宣言するために集められました。唯一の真の神である父への崇拜(IIコリント8:6;ヨハネ17:3)。この意味で、彼は、黙示録14章の最初の天使のメッセージが世界に伝えられました。そのテキストには次のように書かれています。天国の真ん中にあり、地上に住む人々とすべての人々に知らせる永遠の福音がありました。国家、部族、言語、民族が大声で「神を畏れ、神に栄光を帰せよ」と言いなさい。なぜなら彼の裁きの時が来た。そして天と地と海と水の泉を造られた方を崇拜しなさい。」

(黙示録 14:6,7)。「...を作った方を崇拜せよ」という同じメッセージが、次の文で始まることに注意してください。
言葉：「神の裁きの時が来た」。調査裁判は1844年に始まったことが知られている。
午後と午前の2300を遵守します。そしてそれは死者から始まり、死者で終わるということ
地球上に生きている最後の世代、そのときキリストは人々と人々のためのとりなしをやめるためです。
「恵みの扉は閉ざされた」。こうして、残された発表はもはや死者の裁きではなかった
-それははるか昔に始まりましたが、むしろ生者の裁きの始まりです。メッセージに込められています
最初の天使の。

2001年に三位一体の下でアドベンチストのバビロン捕囚の後、神によってよみがえられた人々は、
すべての人に真の崇拜に戻るよう呼びかけるだけでなく、
生者の裁きが始まったという事実に彼の目は開かれた。しかし、彼はそうしませんでした。
私には光が見えていませんでした。これが委員会メンバーの一人によって委員会の指導者に提出されたとき、
奉仕者の4人の天使のうち、大多数を占める3人がそれを拒否し、その流通を妨げました。あ
この時まで、この教えはすでにいくつかの場所で説教されており、その成果は、それが神の信任を持っていることを証
明しました。アフリカのさまざまな国の人々が教会を捨て、
彼らは罪を捨てて宣教に参加し、新しい会衆が設立されました。しかし、
その流通は中断され、「委員会の承認を得る」前に説教されたという事実
にもかかわらず、メッセンジャーの誇りと独立精神の結果として非難された。
彼の同僚の委員会のメンバーたち。

それから間もなく、著者は今度は同じ真実を提示することに感動しました。
黙示録 12 章に基づいており、そこで彼は「太陽の服を着た女性は…苦しみを抱えている」と指摘しました。
「出産...出産を望んでいる」(黙示録12:1-3)地球上の生き物の教会を代表するものとして、
生者の裁きの時に、神の前にへりくだり、罪に対する勝利を懇願し、
一方、「赤い大きな竜」であるサタンが「女の前に立って」彼女に敵対したのです(黙示録 14:13)。
12:3,4)。この場面が生者の裁きを描いていることは、後の聖句を読むと理解できます。
そのときサタンは天から追放され、その住人たちはこう叫ぶと言われています。
私たちの神の救い、強さ、王国、そしてキリストの力。なぜなら告発者は
私たちの兄弟たちは、昼も夜も私たちの神の前で彼らを告発し、打倒されました。」
12:10)。捜査判決で、イエスが私たちの名前を審査している間、次のようになったことが知られています。
サタンは告発者として私たちに敵対します。彼が追放されると、天使たちはそれまで彼が
彼の兄弟たち、つまり私たちを非難した。教会はダニエル書 8 章 10 節で「天のホスト」と呼ばれています。したがって、天使たちは
彼らは私たちを兄弟だと思っていました。

今となっては明らかだが、当時このメッセージは3人のメンバーには受け入れられなかった。
委員会、当時の過半数。そして彼の説教も妨げられました。それは統合していました
三人の間に天から送られる連続する光を拒絶する姿勢。その省は、
光のキャリアとリジェクタの2つに分けられます。

黙示録の教会の預言

現時点では、次のような事実は何もないといういくつかの事実を明らかにする価値があります。

4 天使の宣教に参加した人たち、特に主要な教会に出席した人たちです。

このメッセージは指導者たちによって繰り返し説教され、神からのものであると認められ、黙示録の最初の教会であるエフェソスに4天使奉仕に適用されました。これに加えて、

読者の利益のために、ヨハネの黙示録の学者たちは次のような預言を知っていることをついでに述べておきます。

黙示録第2章と第3章に示されている7つの教会のうち、

七つの封印。別の言い方をすれば、どちらも同じことを描いているということです。明らかにされた情報に情報を追加する

他の人によって。これまで見てきたように、封印が開かれるたびに、教会の状態が示されます。そして

それは、「七つの教会」という名前のついた預言の中で最もよく説明されています。したがって、最初のメッセージは、

教会は最初の封印に描かれている教会を対象としています。

最初の封印では、教会は「勝利と勝利を収めた白馬」で表されていました。

克服するためです」(黙示録6:2)。この経験は、最初の教会に宛てた手紙の中で彼女に送られたメッセージの中に表されています。

あなたの忍耐、そしてあなたが悪者たちを苦しめることができないように。そしてあなたは自分を使徒だと言う者とそうでない者を試みる

彼らはそうです、そしてあなたは彼らが嘘つきであることがわかりました。そしてあなたは苦しみ、忍耐力を持っています。そしてあなたは私の名前のために働きましたが、そうではありませんでした

あなたは疲れました...」(黙示録2:1-3)。さまざまな戦いで、狂信、背教、反対に直面する

アドベンチスト教会の開放性と迫害、それまでは宣教省は人々の目には勝利を収めていたように見えました。

神。信仰は欠けていませんでした。

しかしイエスはさらにこう付け加えました。「しかし、私はあなたに対してこう言います。あなたが初恋の人を捨てたからです。覚えて-

したがって、あなたはどこから落ちたのか、悔い改めて最初の行いをしなさい。そうでないときは、すぐにあなたに

あなたが悔い改めない限り、わたしは行ってあなたの燭台をその場所から取り除きます」(黙示録2:4,5)。最初のものを持つ

の部分は完全に遵守されており、省への警告の適用が完璧であったことは否定できません。

4人の天使。冒頭でイエスが次のように言われているように、このメッセージは特に指導者に向けられたものでした。

教会の天使は...書いています」と書いており、天使は福音を説教したり教えたりする人を表します。使徒パウロ

ガラテヤの信者たちは彼を「神の使い」として受け入れたと記録しています(ガラテヤ4:14)。の口調

警告はこうでした。「最初の仕事をしなさい。そうでなければ、私はすぐにあなたのところに行き、あなたをあなたの場所から追い出します

あなたが悔い改めない限り、あなたの燭台は消えます。」

批判の精神、誰であっても新たな光を受け取る謙虚さ

キャリア機器は省の歴史の初めに存在していた特徴でしたが、もし

時間の経過とともに失われます。具体的には、キリストが言及した「燭台」は、

当時、夜は松明や油の入った燭台で照らされていたため、

芯。その霊的な意味は聖書にはっきりと書かれています。「あなたは私の足のともし火です。」

言葉、そして私の道の光です」(詩篇 119:105)。このようにして、私たちはキリストの警告を理解します
これは、神の言葉の光を拒否する姿勢をとらないように指導者たちに警告したものです。

この意味がよりよく理解できるようになります。さて、これまで見てきたように、外務省は
すべての真の神の教会と同様に、人々に独特のメッセージを宣べ伝えるために設立されました。

この世代にとってはその時が来ました。他の宗教宗派にはないものです。したがって、

燭台のシンボルは、単に聖書に関する一般的な教えを表すだけでなく、

キリスト教世界全体またはほとんどによって認められています。それは真実を象徴しています

現時点では、古代の教義に対する追加の光から構成されていますが、それらを覆すものではありません。

しかし、より明るく輝かせてください。そして聖書の預言についてもさらに光を当てます -

なぜなら、真の教会は常に預言の教会であり、それが彼らに光をもたらすからです。したがって、それは理解されますが、

具体的には、燭台の除去は今回の特別な光の拒否に相当すると考えられます。

それは神の言葉から輝いたものです。

この章ですぐに語られる物語は、ここで暴露されたものに重要な証拠を与えるだけです。あ

ほとんどの指導者は、省に持ち込まれた一連の照明を時系列順に拒否しました。

エズラ記 7 章の研究に基づいた生者の裁きのメッセージ。同じメッセージが再表示される

黙示録 12 章を学ぶことによって。そして、1888年にユダヤ人に与えられたメッセージに照らして、信仰による義認を得る。

ジョーンズ牧師とワゴナー牧師。燭台の明かりのように燃え盛る彼らは押しのけられ、

光よりも闇を好む人々の態度によって。だから燭台は消えた - 人たちと

感謝。これは、黙示録で第二の教会に宛てられた次の言葉を考慮すると最も良く理解できます。

これから見るように、スマーナ。

エフェソスへの手紙で預言されていた期間の後、イエスはこう言われます。

書いてください :これは最初で最後の人、誰が殺され、そして再び生きているかを言っています :私はあなたの作品を知っています、そして
艱難、貧困(しかしあなたは金持ちだ)、そして自分たちをユダヤ人と称する、そしてユダヤ人ではないがユダヤ人である人々への冒瀆。
サタン、あなたが苦しむであろうことを何も恐れないでください。見よ、悪魔はその一部を投げかけるだろう
あなたが刑務所にいるのは、誘惑されるためです。そしてあなたは十日間の艱難を受けることになる。死ぬまで忠実でありなさい、そして与えなさい
命の冠をあげます。」(黙示録 2:8-10)。

私たちはたった今、第二の封印が解かれた後に明らかになったように、何かが存在するに違いないことを見ました。

4天使省の部門。スマーナへの手紙は、忠実な指導者である少数派が何を望んでいるのかを明らかにしています。

彼らは奉仕活動の中で真理の燭台を振り回したために苦しみました。なぜなら彼は「天使」に呼びかけているからです。

教会"。彼らは厳しい試練や貧困を経験するでしょうが、神は彼らを「信仰が豊か」であるとみなされるでしょう。

あなたの仕事、苦難、そして貧困(しかしあなたは金持ちです)。「彼らはまた、中傷され、厳しくなるだろう

彼らは自分たちの宣教仲間たちから批判されており、それはキリストの言葉によって明らかにされています。

「私は知っています...自分たちはユダヤ人であると言い、実際はそうではなく、サタンの会堂であると言う人々の冒瀆です。」

この章で説明されている場面を経験したすべての省員は、その危険から逃れることはできません。

キリストの言葉の現実。彼らはそれが真実であり、正しく適用されていることを知っています。

何が起こったのかを反映しています。

聖書はこう述べています。「意見が合わないのに二人は一緒に歩いていけるだろうか」（アモス 3:3）。

同省を訪れ「見る目」を持っていた人たちは、すでに次のことを理解できたでしょう。

隊列は団結しておらず、分裂は深かった。すでに始まっていた別居

省内ではそれは避けられなかった。まだ真実の旗を掲げた少数派と

彼女は時折、他人の評価に新たな光をもたらしましたが、最初はベールに包まれた形で迫害されました。

それから公然と。黙示録の第二の封印は、それらの中で直面したすべてを要約しています。

これらの言葉は比喩的に理解されます。

他の人たちに」（黙示録6:4）。

イエスはルカ 12 章で「二対三」の分裂を予言していました。

分裂は 2011 年に起こり、真実を支持する委員会のメンバー 2 名と

彼らは光の中に留まり続けることを意図していましたが、闇をより愛している人々から離れました。最初は、いいえ、

彼らは新しい教会を設立するという考えを持っていました。しかしすぐに、主は彼らに必要なことを印象付けられました。

作業を進め続けます。それから、キリスト・イエスによって強められて、彼らは立ち上がり、

第 4 の天使の奉仕 - 最終警告。もう一度言いますが、これまで何度もあったように、

歴史上、イエスはご自身のものとして、ご自身の目的を達成するために、次のような人々とともに教会を立てられました。

彼らは光の中に留まりたかったのです。

スミルナ教会への預言の言葉の中に、体が 2 つの部分に分かれていることがわかります。

忠実な者たちに対して主はこう言われます。「わたしはあなたの業と艱難を知っています」、そしてもう一つは「ユダヤ人と自称する人々の業と艱難を知っています」。

彼らはそうではありませんが、彼らはサタンの会堂です」と前者を中傷し冒涇しています。

著者を含め、中傷され、苦しんでいる人たちに、イエスは次の言葉を語りました。

苦しまなければならないもの。見よ、悪魔はあなたがたを誘惑するために、あなたがたのうちの何人かを牢獄に投げ込むだろう。

そうすればあなたは十日間の艱難を受けるであろう」（黙示録 2:10）。証拠の正確さを実証して、彼はこう付け加えた。

「死ぬまで忠実でいなさい、そうすれば私はあなたに人生の色を与えます。」

紀元前から真実の立場をとってきた人々を個人的に知っている人なら誰でも

宣教の中で分裂しており、あなたは自分の状況を認識しており、これらの言葉が文字通りの意味であったことを知っているでしょう。

あなたの経験で満たされます。私たちは状況に応じた刑務所に住んでいます。「十日」という言葉は、

象徴的な預言では、10年と理解されています（民数記14:34参照）。何年もの間、私たちは

資産を奪われ、さまざまなビジネスプロジェクトでだまされ、競争に直面する

元牧師の兄弟からも不誠実で、私たちが所有していた資産を失いました。私たちは数えませ

数多くのプロジェクトが構想されましたが、これらの理由やその他の理由で成功しませんでした。たくさんの異なる

いくつかの出来事は、そこで働いていた人々によって本質的に超自然的なものであると認識されていました。

著者の会社は、繁栄への道の進歩を繰り返し妨げました。6月から

2008年 - カウントの開始点が何であったかを正しく理解していれば、2018年6月までは合計されます

中傷、迫害、ペールに包まれた公然とした反対、そして進歩の妨害に直面した10年間
悪魔によって操作されています。キリストが定めた期間を終えた真の教会は、
第三の封印の時。これについては次の章で説明します。

第7章

新しい預言の教会の体験

「そして彼が第三の封印を解いたとき、私は第三の獣が「来て見てみる」と言うのを聞いた。そして見てみると、見よ、
黒い馬、それに乗っている馬は手に秤を持っていました。そして私はその中で声を聞きました
4匹の動物の中には、「1ペニーで小麦1セア、大麦3セア」と書かれていました。
お金のため。そして油とワインを傷つけないでください。」（黙示録 6:5,6）。もう一度啓示
母教会と残りの教会の2つの教会が描かれています。母親（4人の天使の省）の代表者
最初のアザラシとは異なる色の馬で続けて残りのアザラシを送ります（省）
第4の天使 - 最終警告）は、苦難に直面する少数派で構成されています。

「黒い」馬が見えます。かつては白く純粋だった母教会は、その純粋さと輝きを失った。•
聖書の中で黒は、亡くなった人に対する「哀悼」を表します。「主なる神はこう仰せられます。
地獄に落ちたので、私はそこに悲しみを引き起こしました。私はあなたのために深淵を覆った、そして私はあなたのために差し控えた
小川と多くの水が静止していた。そして私は彼のせいでレバノン黒く覆った、そしてすべて
野の木々は彼のせいで気を失った」（エゼキエル31:15）。シンボルが適しているのは、
メンバーが世のやり方を吸収し、慣行を放棄した省を代表する
聖書の医療改革と教育に関連したいくつかの真実。
子どもたちの人格形成。そのような拒絶から生じる害は、まざまざと感じられました
多くのリーダーやメンバーによって。

騎士として表現されたキリストは、裁きの象徴である秤を手を持っていました。
ヨブは神の裁きに訴えてこう言いました。「忠実な秤で私の重さを量ってください。そうすれば神は私の秤量を知ってくださいでしょう。
誠実さ」（ヨブ記 31:6）。私たちの救い主は、その遺産を裏切った教会の裁判官として現れます。
黙示録がダニエル書、キリストの手にある天秤の図を明らかにしていることを考えると、
黒い色の教会は、神が彼女を裁き、彼女に落ち度があると宣言し、彼女の王国を奪い取ったことを表しています。
他人にあげること。これはダニエルの朗読から次のように理解されます - 誇り高き王へ
バビロンは次のように宣言されました。「これはその解釈です :メネ :神はあなたの王国に番号を付けました、そして、
彼は終えた。テケル: あなたは体重計で量られましたが、不足していることがわかりました。ペレス: 分裂したのは君だ
王国となり、メディアとペルシアに与えられた。その夜、カルデア人の王ベルシャザルが殺されました。そしてダリウスは
恐れが王国を占領した」（ダニエル書 5:27-31）。

私たちの時代にも同じことが起こりました。4つの天使の省の重さを量ったところ、
欠けていたため、神の王国は彼から奪われ、光とともに続いた他の人々に与えられました。第4の奉仕
エンジェル - 最終警告。聖書には次のように書かれています。そして何が起こったのか、それは
それは行われるでしょう。太陽の下に新しいものは何もないように。何か言えることはありますか。ほら、
これは新しいですか？それは私たちの前にあった過去数世紀のことです。」（伝道 1:9,10）。

第三の封印の本文には、第四の天使省が -
最終警告は預言で表現されています。明らかになることは、「中から」来るキリストの声を聞くことです。
4匹の動物のうち、「小麦1セアで1デナリオン、大麦3セアで1デナリオン」と書かれていました。
デナリオン。油とぶどう酒を傷つけないでください」（黙示録6:6）。デナリオンは、人に支払われる給料でした。
一日働く労働者。表示された部分は使用量を表します。
一日、食べ物の中で。したがって、1日1デナリオンを稼ぐということは、食べるために働くことを意味しました。あるいは、こう言った
それ以外の場合、その収入は必要不可欠な出費を賄うのに十分でした。省の指導者
彼らは、これらの言葉が自分たちに特に当てはまることを知っています。に示されている預言の10日間
私たちが理解しているように、第二の封印と第二の教会の時代（黙示録 2:10）は、
6月か7月に2冊の本の発売とともに起こった、省内の部門のマイルストーンの
それ以来、この作業を主導してきた人々は、
特にこの経験を生きました。

第三の封印でのしもべたちに苦難の時が訪れることを告げるイエスの声
これは、神の民にパウロの経験を与えることが神の計画の一部であることを示しています。
私は豊かさを得る方法も知っています。あらゆる方法で、あらゆることにおいて、私は両方ともそうするようにと指示されています。
お腹が空いているように、たくさんあります。豊かになることも、欠乏して苦しむことも同じである」（ピリピ4:12）。

現時点では、私たち牧師には何の理由もないことに注意する必要があります。
あるいは、そのような崇高な遺産を受け継いだこの新しい省のメンバーは、自らを高めます。さて、私たちが見たように
ここでは、男性諸君、自分たちが誇りに思っている限りは通り過ぎた。キリストだけが構成できる、
彼の存在、それが真の教会です。そして真の教会の状態は維持することによってのみ可能です
その指導者たちが信仰によって神との密接なつながりを保ち、従順で従順で従順なとき。
彼の意志に従って。私たちは自分自身の中では何もありません。私たちには誇るべきものは何もありません。私たちはとても
欠陥がある。「神はこの世の卑劣なもの、卑劣なもの、そうでないものを滅ぼすために選んだのです」
それらは。それは、肉なる者が神の前で誇ることがないためである」（1コリント 1:28,29）。「主はこう言われます。
賢い者は自分の知恵を誇ってはならないし、強い者は自分の強さを誇ってはならない。金持ちは自慢しないでください
彼の富、しかし誇る者はこれを誇りなさい。彼は私を理解し、私を知っている、私とその者であるということです。
地上で慈悲と裁きと正義をなさる主よ。私はこれらのことに喜びを感じているからです、と彼は言います
お客様"。（エレ 9:23,24）。

第三の封印の期間に相当する第三の教会への手紙は、
私たちへの追加の警告：「ペルガモンにある教会の天使にこう書きなさい。彼はこう言っています。

鋭い両刃の剣を持っています。私はあなたの仕事とあなたの住んでいる場所を知っています、そこが王座のある場所です。サタン;そして、あなたは私の名前を堅持しており、私の信仰を否定していません...しかし、私には反対することがいくつかあります。あなたには、バラクにつまずきの石を投げるように教えたバラムの教義に従う人々がそこにいるからです。それはイスラエルの子らの前で偶像崇拜のいけにえを食べ、淫行を犯すためであった。」(アポック。2:12-14)。バラムの教えは、他の偶像を崇拝することによってイスラエル人を神への忠誠からそらす傾向がありました。最初の戒めには、「あなたがたはわたしのほかに他の神を持つてはならない」(出エジプト記 20:3)とあります。スピリチュアルな意味で見ると、非常に広い意味を持ちます。あらゆる練習、習慣、私たちが神よりも大きな愛情を注ぐ人や物。すべての人に主を愛するよう奨励します。神は心と魂と力を尽くして。(申命記6:5)私たちに当てはめると、それは完全な聖別を要求します。キリストとその奉仕。

私たちは地球の歴史の最後の日に生きています。私たちは生きて最後の世代の信者です - キリストが天の雲の中に戻ってくるのを見る人です。私たち自身に空があるだけではありません。勝つことは避けるべき地獄だ。世界に警告し、光を共有するという重荷が私たちに課せられています。それは神の恵みによって、親切にも私たちに与えられました。無駄にする時間はありません。それとも私たちはそうなるのだろうか。完全に神からのものでないと、世界が私たちを吸収してしまうでしょう。

教会へのメッセージに戻ると、もたらされる別の危険が特に強調されていることが注目されます。バラムの教えによれば、「彼らに淫行をさせなさい」。どこに行っても官能性が露出します。キリストだけが、あまりにも多くの倒錯に直面して警戒を緩めないように私たちを救ってくださることができません。神の目から見て受け入れられないことを「普通」として理解し、自分自身がそれに陥らないようにしましょう。誘惑と罪の中で。私たちは魂の入り口をできる限り守らなければなりません。言ってください。主:「虚栄心を見ることから目をそらし、あなたの道で私を元気づけてください」(詩篇 119:37)。同様に、体を適切に覆うことは、「姦淫してはならない」(出エジプト記 20:14)という主の戒めに暗黙的に含まれている義務です。私たちは適切な服装をし、誰にも渡さないようにしなければなりません。この件で私たちのことを悪く考える機会になりました。

封印を読んでいくと、恐ろしい試練が神の教会を待っていることが分かります。私が第四の封印を解いたとき、私は第四の獣の声を聞きました、「来て見てください」。そして見てみると、見よ、青ざめた馬、それに座った者は死と名付けられた。そして地獄が彼に続いた。それは彼らには、剣と飢餓と疫病とを使って地球の4分の1を殺す力が与えられた。地の獣たち」(黙示録6:7,8)。青白い馬は母教会を表しており、この時点でリーダーが変わりました。乗り手に与えられた「死」という名前は、「死を持った者」を適切に表しています。死の帝国、すなわち悪魔です」(ヘブライ人への手紙 2:14)。「悪魔」という名前は、サタンの能力を強調しています。騙す。パウロはテモテに、信者たちが知って従うように働くよう勧める。

「真理...悪魔の束縛から自由になること」(IIテモテ 2:25、26)。騎士の象徴。4番目の封印は、悪魔がその中に表されている教会を欺いていることを示しています。そのメンバー。彼らは宗教の名のもとに神の真の僕を迫害し、殺害することに協力するだろう。

残りのシールとそれぞれのシールの遵守に関しては、まだ多くのことが言えるでしょう。

教会への手紙。ただし、間もなく展開される恐ろしいシナリオを考慮すると、慎重にここで終わると判断します。この本の目的は、読者が次のことをできるようにすることです。何世紀にもわたって神聖な黄金の糸をたどり、今日何が真実であるかを特定する聖書の預言の成就として現れた、地上の神の教会。で暴露された啓示この本の各章は、誠実な人を説得するのに十分な証拠をもたらします。

黙示録は末日聖徒を「

神の戒めとイエスの信仰」（黙示録14:12）。そしてまた、「イエスの証しを持っています。それは預言の霊である」（黙示録 12:17; 19:10）。墮落した会衆から離れるようにすべての人に勧めます。次の言葉によって、真の教会に団結してください。彼らの罪を免れ、あなたが彼らの災いを受けないようにするためです。あなたの罪はすでに終わっているからです。それは天にまで積み上げられ、神は彼女の咎を覚えておられたのです」（黙示録18:4,5）。切実な願い天国と教会としての私たちのものは、提示されたすべての証拠を考慮して、あなたが決定を下すかどうかです。真の教会に加わって真理の基準を正しく保つ努力をするのが賢明です。アーメン。

第8章

要約すれば...

神が人間を創造して以来、この国にはただ一つ、そしてただ一つの真の教会が存在しました。それぞれの世代。しかし、教会の指導者たちがさまざまな時期に神から遠ざかってきたように、神は、何度か、彼は他の人たちを立ち上げ、前に棄教した教会を引き継いだ教会を設立しました。このようにして、一連の教会が継承されました。これはストーリー全体を通して途切れることなく続きました。

真の教会には次のような独特の特徴があります。

- 神の戒めとイエスの信仰を守ります(黙示録14:12)。
- 会員の中には神の預言者の存在が含まれる「預言の精神」があり、当時の時代に成就するであろう聖書の預言に光を当てます(黙示録12:17;19:10)。
- その出現の時期と状況は聖書の預言で指摘されています（例 :エゼ21:25-27;そして。 9:24,25;使徒 8:1-4;牧師2:4,5）。

その特徴を知っておけば、いつでもそれを特定することができます。この線
神によって尊敬された教会から構成される、真の教会の継承。
それぞれの時代における神の言葉の光の寄託者たちは、人々に対する神の「黄金の糸」を構成しています。
何世紀にもわたって、以下のグラフは、彼らを彼らの名前または指定された代表者の名前で示しています。
聖書の中で、古い日付（イスラエルまで）はおおよそのものです。

O fio de ouro ao longo dos séculos



今日の真の教会は、第4天使奉仕 - 最終警告です。

しかし、その牧師や会員が誇るべきものが何もないことは歴史が十分に証明しています。
むしろ、彼らは人生において神に栄光を帰そうとする現在の軌道が続けなければなりません。
神の前にへりくだり、従い、世に宣べ伝え、キリストの苦しみに耐え、
彼を信じます。指導者たちが神の栄光を見失い、自分自身を高揚させるたびに
そして彼らの意見は、彼ら自身が点火した火花の光の中に残されました。そして神聖な燭台
真理は彼らから奪われ、喜んで神に服従して満たされた謙虚な者たちに与えられたのです。
あなたの意志。昔も今も、これからもそうでしょう。それゆえ、「主はこう言われる、『賢者は誇るな』
彼の知恵、強い者は彼の強さを誇ることはできません。金持ちは自分の富を誇ってはいけません。
もしあなたが誇るなら、これを誇りなさい。わたしを理解し、わたしを知っていること、わたしが主であり、それを行う者であるということである。
地球上の慈善、判断、正義。わたしはこれらのことを喜んでいる、と主は言われる」（エレミヤ 9:23,24）。

「さあ、あらゆるものを超えて豊かに行うことができる方に」

私たちは、自分の内に働く力に従って、イエス・キリストを通して教会の栄光を求め、あるいは考えます。
あらゆる世代で、永遠に、そして永遠に。アーメン！"（エフェソス 3:20,21）。そう、「座っている人に」
御座と小羊に感謝と名誉と栄光と力がすべての人に与えられますように
いつも」（黙示録 5:13）。そして、メンバーと、このささやかなこのイベントに参加しに来るすべての人々が、
私たちの主イエス・キリストの栄光の再臨まで、宣教は続けられます。これは
私たちの心からの願い。アーメン！

神のお恵みがありますように。

付録

エズラ記 7 章に基づくメッセージ: 生者の裁きの発表

...裁きの時が来た...生ける者の

主イエスは私たちに次のように忠告されます。

「聖書を調べてください。聖書の中であなたは永遠の命があると考えていますし、聖書自体が私について証言しています。」ヨハネ 5:39

イエスは、聖書がご自分のことを証していると言いました。これは、創世記から黙示録に至るすべての聖書の物語が、救いの計画において人々に有利な神の働きの一部を明らかにしていることを意味します。
それぞれの物語の中に、キリストの型、あるいは人物像を物語る登場人物が登場します。
聖書はすべて、キリストのご人格とその働きを明らかにしています。これを念頭に置いて、エズラ記 7 章を読み、そこに例示されているキリストの使命の部分を理解してみましょう。

「これらの事後、ペルシアの王アルタクセルクセスの治世に、セラヤの子エズラ、アザリヤの子、ヒルキヤの子、アビシユアの子、ピネハスの子、エレアザルの子、ヒルキヤの子、大祭司アロン、このエズラはバビロンから来た。」エズラ記 7:1-5。

エズラは、過去に初代大祭司であったアロンの子孫でした。アロンは真の大祭司、イエス・キリストを代表しました。エズラはアロンの直系の子孫であったため、大祭司の血統に属し、そのため大祭司としての働きにおいてキリストを代表しました。

エズラについては次のようにも言われています。

「彼はイスラエルの神、主から与えられたモーセの律法に精通した律法学者でした。そして王は、彼の上に臨まれた彼の神、主の善良な御手に従って、彼に求めたものをすべて叶えた。
エズラは主の律法を求め、それを実行し、主の掟と裁きをイスラエルに教えることに心を決めていたからである。」エズラ 7:6、10。

エズラは律法を求め、それを成就し、それを教えることに心を決めていました。この働きはまた、神の律法（十戒）を成就し、今日、大祭司としての働きの中でそれを成就する方法を私たちに教えようとしたイエス・キリストの働き的一种でもあります。11節にはこう書かれています。

「これはアルタクセルクセス王が、イスラエルに関する主の言葉、戒め、掟の筆記者である祭司エズラに与えた手紙の写しである。」エズラ記 7:11

エズラはアルタクセルクセス王から手紙を受け取りました。もし彼がイエスを代表しているとしたら、アルタクセルクセス王は誰を代表しているのでしょうか？そして彼がエズラに与えた手紙は何を意味しますか？12節を読んで次のことを理解しましょう。

「王の中の王アルタクセルクセス、天の神の律法の書記である祭司エズラに、完全な平和を！」エズラ記 7:12

手紙の冒頭で、国王は自分自身を「王の中の王」という称号で名乗っています。聖書によると、王の中の王の称号を持つのは誰ですか？テモテ第一 6章15,16節を読んでみましょう。

「王の中の王、そして主の中の主。ただ一人不死を持ち、近寄りがたい光の中に住み、誰も見たことのない者である」テモテ第一 6:15,16

王の中の王とは、「誰も見たことのない」方です。イエスは地上にいたときは多くの人に見られ、天に昇られた後は使徒パウロと他の数人の人々に見られました。それでこの王の中の王はエズラの物語では、アルタクセルクセスは父なる神を表しており、その法令、つまりアルタクセルクセスがエズラに与えた手紙は、父なる神がイエスに与える法令を表しています。この政令には何と書かれているのでしょうか？エズラ記 7章13節を読んでみましょう。

「わたしの王国では、イスラエルの民とその祭司、レビ人のうち、あなたたちと一緒にエルサレムに行きたい者はだれでも、行かなければならないとわたしは命じました。」エズラ記 7:13

神は、イスラエルの人々のうち、イエスと一緒にエルサレムに行きたい人はだれでも行くべきだと言われました。今日の神のイスラエルとは誰でしょうか？パウロはローマ人への手紙 9章6節と8節で次のように述べています。

「そして、神の言葉が失敗したとは考えないでください。実際、イスラエル人全員がイスラエル人ではないからです。つまり、これらの神の子供たちは正確には肉の子供ではありませんが、肉の子供たちはそうしなければなりません。子孫としてみなしてください。約束してください。」ローマ 9:6,8。

イスラエルの子らは、神の言葉がその言葉に書かれていることを達成する力があると信じる人々です。彼らは神の言葉をそのまま受け入れ、たとえば神が「光あれ」と言ったとき、実際に光があった、と信じる人々です。そして、イエスが「父なる神は一人である」（コリント 8:6）と言うとき、彼は実際に、自分は一人の人間、父であると言っているのです。「安息日から安息日を聖く守るためである。」（出エジプト記 20:8）これらの言葉には、それを信じる人を安息日を守る者に変える、イエスによって与えられた神の力が宿っています。信仰による安息日。

神は大祭司イエスに与えた法令の中で、ご自分と一緒にエルサレムに行きたい者は行かせなさい、とおっしゃいました。歴史によれば、王は王の中の王の命令に従ってエルサレムに向かうためにどこへ出発するのでしょうか？エズラ記 7章9節を読んでみましょう。

「…バビロンを出発し、…エルサレムに到着した」エズラ記 7:9。

エズラはバビロンを去りました。それは、私たちが大祭司であるキリストが、バビロンからエルサレムへの旅路で人々を導くよう、父なる神から「王の中の王」からの命令を受けることを表しています。過去に、

バビロンは偶像崇拜の国であり、偽りの神、三位一体を崇拜する国でした。彼女には誇り高き王が属しており、こう言いました。

「これは、私が王室のために、私の偉大な力と私の威光の栄光のために建てた偉大なバビロンではないでしょうか？」ダニエル 4:30。

誇り高き王ネブカドネザルは、バビロニア人の間に存在した誇りと「自己」への愛の象徴でした。この物語を現代に当てはめると、エズラが典型としたイエスが、バビロニアの教義である「三位一体」への崇拜を放棄し、「自己」を完全に放棄したい者を導くよう神から命令を受けていることが分かります。エルサレムの住民の霊的な状態に到着します。イエスには、私たちのような人々が偽りの神、三位一体、さらには「自己」全体への信仰を放棄し、神のエルサレムの住人とみなされるように導く使命があります。

パウロは、彼らは天の都エルサレム出身であり、キリストによって罪の奴隷状態から解放され、異教の教義をすべて捨て、自己をすべて捨てたので、イエスが彼らの心の中で主権者として君臨されたのだと言いました。

「しかし、上にあるエルサレムは自由です（罪の奴隷状態から解放され、自己に対して死んだ）。それは私たちの母です...そして、兄弟たち、私たちは自由の子の子供です。」ガラテヤ 4:26,31。

エズラ記 7 章に示された布告の中で、父なる神は、エズラが象徴したイエスに、望む者たちをバビロンの霊的状态からエルサレムの霊的状态に連れて行くように命じられました。そして、神はその手紙の中で、「あなたと一緒にエルサレムに行きたい者は、行かせなさい」（エズラ記 7:13）とされています。望む人は誰でも、私たちの大祭司であるイエスに従い、私たちの心から「三位一体」というバビロニアの教義を取り除いてもらい、自己を完全に神に明け渡し、神によって罪の奴隷状態から解放されるすることができます。エズラ記 7 章からのこの順序で、神はイエスに他に何をしよう命じていますか？

エズラ記 7章14節を読んでみましょう。

「あなたがたは、王とその七人の顧問らから、あなたの手の中にあるあなたの神の律法に従って、ユダとエルサレムについて調査するよう命じられているからである。」エズラ記 7:14。

神はエズラに代表されるイエスに、「調査」、つまり「調査」を行うよう命じます。これは私たちに何かを思い出させますか？イエスは、大祭司として、1844年以来、ある日イエスを受け入れたすべての人々の帳簿の調査を実施しており、各人はその行いによって裁かれています。私たちは、裁きが義なる死者から始まったことを知っています。しかし、ある時点で、彼は生者の事件に移ります。

エズラ記 7 章のこの法令では、生きている事件を調査するよう命じられています。それとも死者の？ 25 節と 26 節を読んでみましょう。

「エズラよ、あなたは、あなたが持っているあなたの神の知恵に従って、ユーフラテス川の向こうのすべての人々、あなたの神の法律を知っているすべての人々と、それを知らない人々を裁くために判事と裁判官を任命します。知る。あなたの神の律法と王の律法を守らない者は、死刑、追放、財産没収、投獄のいずれかに処せられる。」エズラ 7:25,26

この文書は、エズラが律法を「知っている」人々を裁き、王の律法を知らない人々にそれを「知らせる」よう命じられたことを示しています。聖書は、死者は何も知らず、太陽の下で行われていることには何の関与もしないと明確に述べているので（伝道 9:5）、次のような順序が与えられていることが分かります。

エズラ 7 は生きている人々についての物語です。それはイエスが生きている者を裁くという命令です。

そして、私たちは、この法令の中で、イエスに天で神の民、神の現代イスラエルの生きている人々を裁く働きを始めさせるという父なる神からの命令が例示されていると理解します。言い換えれば、この布告はイエスが生者に対する裁きを開始するためのものである。

この法令はいつ天国で発令されるのでしょうか？この判決で私たちの訴訟は永遠に決定されることになるため、この質問に答えることは確かに重要です。パウロは、神の言葉を学び従う人は、次のように言っているように、生きている人の裁きの時がいつ来るのかを知ることができるということを私たちに理解させています。泥棒」(I Thess.

5:4)。答えを見つけるために、エズラ記 7章8節と9節を読んでみましょう。

「エズラはこの王の第7年、第5の月にエルサレムに来た。彼は第一の月の一日にバビロンを出発し、第五の月の一日にエルサレムに来たのである。」エズラ 7:8,9。

エズラはアルタクセルクセス王（父なる神）の第7年に命令を履行してエルサレムを去りました。「7年目」に、神はイエスに、生きている人々の事件を調査し始めるように命令しました。今年は何ですか？神は永遠の昔から統治し、これからも永遠に統治し続けるお方です。したがって、神の第7年が神が統治し始めた7年目に相当すると理解するのは意味がありません。では、神にとって「7年目」が何であるかをどうやって理解できるのでしょうか。聖書は神の政府について次のように述べています。

「雲と闇が彼を取り囲み、正義と裁きが彼の玉座の基礎である。」詩篇 97:2。王座、つまり神の政府は正義と判断に基づいています。正義とは何ですか？詩篇 119篇172節には、「彼の戒めはすべて義である」とあります。神は法則を通して宇宙を統治します。聖書が、正義と裁きが神の玉座の基礎であると言っているのはこのためです。したがって、神の7年目は神の律法に記されています。

十戒を読むと、文字通りの意味での7年目の言及は見つかりません。しかし、「7日目」の休息についての言及が見つかります。そして神にとって、「毎日が一年を表す」（民数記 14:34）と書かれているように、預言の一日もまた一年に相当します。したがって、7年目、つまり安息年という概念は、十戒の法則の中に暗黙的に含まれています。そして、律法の戒めを詳しく説明した申命記を研究すると、そこで神が7年目を安息年と定めていることが分かります。この地は主への安息日である。あなたは自分の畑に種を蒔いてはならず、ブドウ畑の剪定をしてはならない。」レビ記 25:4

神は安息日には別の仕事をするべきだと言いましたが、これは私たちの研究のテーマに関連しています。

「7年ごとの終わりに、あなたは寛解に入ります。したがって、これが赦免の道です。隣人に何かを貸したすべての債権者は、貸したものを返済します。主の許しが宣言されているので、彼は隣人や兄弟にそれを要求しません。

見知らぬ人にそれを要求することはできませんが、兄弟が所有しているものは何でも返済します...あなたの兄弟の誰か、ヘブライ人の男性または女性があなたに売られると、彼は6年間あなたに奉仕しますが、7番目に、あなたは彼を自由に解雇するでしょう。」申命記 15:1-3,12。

神は、寛解の年に次の2つのことが起こると決めました。

- 1 - イスラエルの人々の負債が赦されたこと。
- 2 - 奴隷であったイスラエルの人々が解放されたこと。

これら2つの特徴を理解することで、過去に安息年がいつ発生したかを判断することができ、したがって、私たちの時代の7年目、つまり生者の裁きを開始する命令が発せられる年がいつであるかを知ることができます。ルカの書の第4章には、イスラエルの人々の捕虜に自由が宣言される安息日への言及があります。

「彼は育ったナザレに行き、ある土曜日、習慣に従って会堂に入り、立ち上がって本を読みました。

17 そこで彼らは彼に預言者イザヤの書を渡した。そして、その書を開いてみると、そこに書かれている場所があった。

18 主の御霊が私の上にあります。貧しい人たちに良い知らせを宣べ伝えるために、主が私に油を注いでくださったからです。彼は捕虜の解放と目の見えない人の視力の回復を宣言し、抑圧されている人々を解放するために私を遣わしました。

19 そして、主の受け入れられる年を宣言します。

20 彼は本を閉じて係員に返し、席に着いた。そして会堂にいた全員が彼に注目した。

21 そこでイエスは彼らに言われた、「今日、聖書の言葉はあなたたちの耳に届いています。」ルカ 4:16-21。

イエスは、上の本文に示されている日に、「捕虜を解放するために…主の霊が…私に油を注いでくれた…」という預言を読みました。この仕事はサバティカル年度、つまり7年目までに予定されていました。そこでイエスは、「今日、この預言は成就した」と言われました。イエスがイザヤ書の本文を読まれたその年は安息日、つまり7年目でした。

イエスが「今日、この預言は成就する」と言われた年は、西暦26年に始まり、西暦27年に終わる安息日でした。それ以来、私たちの時代の安息年を知るために、単純に数えます。私たちの時代が来るまで、7年ごとに。その結果、サバティカル年度は2000年に始まり2001年に終わり、その他の年度はそれぞれ2007～2008年と2014～2015年に行われたという結論に達しました。

預言からわかるように、神がイエスに生者の裁きを開始する命令を与えたのは7年目です。しかし、これはどのサバティカル年度に行われるのでしょうか？それを知るには、歴史は繰り返すということ覚えておいてください。そして、行われたことは再び行われるでしょう。そのため、太陽の下には新しいものは何もありません」（伝道者1:9）。ユダヤ人は安息日の真理の宝庫でした。アルタクセルクセスの法令により、ユダヤ人はエルサレムに戻って神の十戒を守ることが許可され、真の崇拝を再確立しました。

「私の王国では、あなたと一緒にエルサレムに行きたいイスラエルの人々とその祭司、レビ人は皆、……あなたが持っているあなたの神の知恵に従って行くべきであると私が命じます。」 Ⅱの向こうのすべての人々、あなたの神の法律を知っているすべての人を裁く判事と裁判官を任命します。そして、それを知らない人には、あなたは彼らに教えるでしょう。そして、あなたの神の律法と王の律法を守らない者は、直ちに裁かれなさい」エズラ 7:14,25,26。

これは実際には、真の崇拝を再確立することを意味していました。ユダヤ人は聖書で一神教を学び、「イスラエルよ、聞け、私たちの神、主は唯一である」（申命記6:4）と書かれているように、唯一の神である父を礼拝しました。

現代においても、歴史は繰り返されるはずですが。安息日を守る者として知られる人々は、イエスを通して真の神を崇拝するために戻ってくるよう招かれるでしょう。エズラが過去に行った例に倣い、エズラは現代における福音の説教者である「判事と裁判官」を任命し、すべての人が「神の律法」を知るようにしました。そして知らない人は「教えられる」。ここ数十年、ユダヤ人の数は、地球上で最大の安息日擁護団体となったセブンスデー・アドベンチストの数を上回っている。そして、過去と同様に、彼らの中から、一神教、つまり唯一の神としての父の崇拝に戻るよう世界を教えるようキリストから委託された神の僕たちが立ち上がるはずですが。聖書が教えているように、「しかし、私たちにとっては唯一の神、父がおられるのです。」（1コリント 8:6）。

セブンスデー・アドベンチストは当初は一神教でしたが、1931年に自分たちの信念に三位一体を含めるようになりました。これは、宗派の年鑑を読めば簡単に証明されます。しかし、70年後の2001年に、神は国内のいくつかの地域で反乱を奨励しました。

この年は、神の感動を受けてこの経験を生きたすべての人にとって、歴史的な節目となった。エズラ記であらかじめ定められていたことは成就しました。なぜなら、これまで見てきたように、2000年から2001年はサバティカルな年だったからです。彼らは真の崇拜を強調してメッセージを説きました。しかし、そこには判決の到来を告げる内容が含まれていた。

「神を畏れ、神に栄光を帰せ。神の裁きの時が来たからである。そして天と地と海と水の泉を造られた方を礼拝しなさい」（黙示録14:7）。

このメッセージは今日まで響き続けています。「そして、これが裁きである、光が世に来た、そして人々は光よりも闇を愛した、なぜなら彼らの行いが悪だったからである。」（ヨハネ3:19）。したがって、生きている者はすでに裁かれています。このメッセージを受け入れるか拒否するかによって、すべての人の運命が決まります。

サバティカルの年は、借金を放棄し、永久に免除される年でした。7年目に行われたこの許しの業は、天で成就される真の許しを象徴するものでした。ローマ人への手紙6章23節に「罪の対価は死である」と記されているように、本当の負債は罪の負債です。キリストがあなたの事件を分析するとき、キリストはあなたの罪を永遠に消し去ることができるか、あるいは永遠の死の宣告を下すことができるでしょう。イエスは自分の本がレビューされたら何と言うのでしょうか？私たちの名前が世に知られるとき、私たちが承認され、ジェームズのアドバイスに耳を傾けることができますように。

「だから、神に服従しなさい。しかし悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ出すでしょう。神に近づきなさい、そうすれば神はあなたに近づいてくださるでしょう。罪人よ、手を清めなさい。そして、二心のあるあなたは、心を清めてください。悲しみ、嘆き、泣きま。あなたの笑いを泣きに、喜びを悲しみに変えましょう。主の前で謙虚になりなさい、そうすれば主はあなたを高めてくださるでしょう。」ヤコブ4:7-10。

神の裁きで承認されるために、私たち全員がこのアドバイスに耳を傾けることができますように。
アーメン。

生者の裁きで無罪となり、あなたの魂を救う方法についてもっと知りたいですか？入力してください
接触：

第4天使の奉仕 - 最終警告

アプリの内容: (+55) 41 99509 8425
advertencia inal.com.br

電子メール: contato@advertencia inal
youtube.com/tvadvertencia inal

Facebook: 大臣広告ファイナル